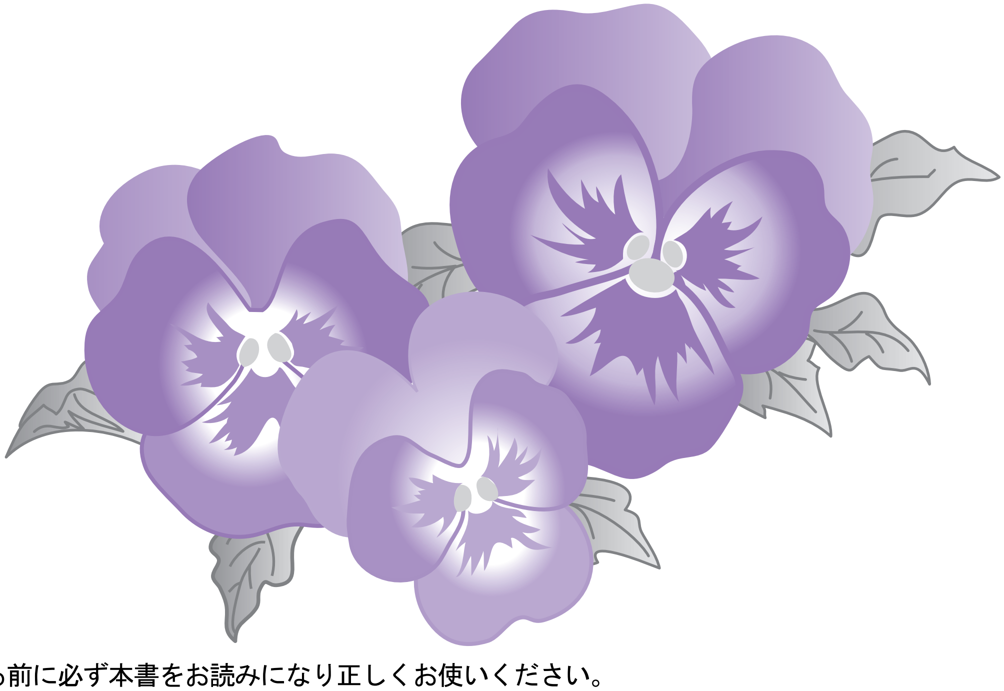
brother

刺しゅうPRO プロ Ver. 7

PC刺しゅうデータ作成機

ES913シリーズ

クイックスタートガイド



●ご使用になる前に必ず本書をお読みになり正しくお使いください。
●本書はなくさないように大切に保管してください。

はじめに

このたびは、刺しゅうPRO Ver.7 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機はパソコンに接続しご使用いただくことにより、オリジナル刺しゅうを作成できる刺しゅうデータ作成機です。お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、このクイックスタートガイドをご覧になり、各機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ末永くご愛用ください。（ソフトウエアをパソコンにインストールすると入るマニュアルもあわせてご参照ください。）

また、お読みになった後は保証書とともに、お使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意：**このクイックスタートガイドでは、お使いのパソコンの Windows および周辺機器の使用方法については説明していません。お使いのパソコンの Windows および周辺機器の使用方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。**

> この装置は、住宅地域での電波障害阻止を目的とした、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、第2種情報処理装置です。この装置は、住宅地域またはその隣接した地域で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

重要： 営業目的で、別売の「刺しゅうカード」や新聞・雑誌等から無断で複製し、本機にて使用することは「著作権法」に触れることになり、法により処罰されることがあります。
本製品に含まれるソフトウエアは、「著作権法」により保護されています。著作権法に従う場合に限り、本ソフトウエアをご使用・複製いただくことができます。
本製品は、一般家庭用のみのご使用を対象としています。

- 本製品は日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
  This machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容を許可なく無断で複製することは、禁じられておりますのでご了承ください。
- 本書の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不審な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

安全にお使いになるために

このマニュアルに使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

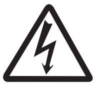
その表示や意味は次のとおりです。

注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が障害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

特定しない禁止事項

特定しない義務行為


感電の危険があります

分解してはいけません

火災の危険があります

水に濡らしてはいけません

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

注意

濡れた手でUSBケーブルのプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

USBケーブルを抜くときは、必ずプラグの部分を持って抜いてください。USBケーブルを引っ張って抜くとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりするとUSBケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。USBケーブルまたはプラグが破損したときは使用をやめてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン119 番）」にご連絡ください。

直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。使用温度は 10 ～ 35 ℃です。本体内部の温度が上がったり、カードライター本体や USB ケーブルの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。

スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。

本体の上に花瓶や水の入った容器を置くなどして、本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水が入った場合は、USB ケーブルのプラグをパソコンから抜いて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本体のカードスロットや内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電の恐れがあります。万一、内部に異物が入った場合は、USB ケーブルのプラグをパソコンから抜いてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。

お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。

万一、本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐにUSBケーブルのプラグをパソコンから抜いてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用になるときは、お子様がケガをしないよう十分ご注意ください。

Windows は米国 **Microsoft Corporation** の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM は米国 **International Business Machine Corporation** の米国およびその他の国における登録商標です。
Pentium は米国 **Intel Corporation** の米国およびその他の国における登録商標です。
InstallShield は **Macrovision Corporation** の米国および他の国における登録商標です。

オリジナル刺しゅうを美しく作成していただくために

この「刺しゅうPROVer.7」では、多様な刺しゅうデータの作成が可能となるように、縫い方の様々な設定（糸密度、縫いピッチ等）がサポートされています。
ただし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や、縫う条件（布、糸など）によって変わるところもございますので必ず実際にご使用になるミシン、縫う条件で、試し縫いを行ってください。

刺しゅう文字について

- ミニサイズ文字以外の刺しゅう文字は書体によってあまり小さいサイズを設定すると、きれいに縫製できない場合があります。1 文字のサイズは、日本語書体は 15 mm 以上、欧文書体（アルファベット等）は 10 mm 以上での設定をおすすめします。
- True Type フォントを使用する場合は、フォントのデザインによってきれいに刺しゅうデータに変換されない場合があります。均一な太めのラインでデザインされた True Type フォントをお選びください。
- ミニサイズ文字が含まれた刺しゅうデータを縫製するときは、次の推奨事項に従ってください。

1. 糸調子を、通常の刺しゅうデータの場合より弱く設定します。
2. 通常の刺しゅうデータの場合より、遅い速度で縫製します。
3. 文字の間の渡り糸を切らないようにしてください。
（ミシンの糸調子と縫い速度の調整、および糸切りの設定については、ミシンの取扱説明書を参照してください。）

目次

はじめに
安全にお使いになるために
目次 1
お使いになる前に 2
クイックスタートガイドの読み方 2
特長 3
操作の流れ 6
はじめに 7
ソフトウェアのインストール（必ずお読みください。） 9
オンライン登録 19
最新のプログラムにアップデートする 19
ソフトウェアのアンインストール 22
マニュアルの読み方 23
縫い方の種類 26
使ってみましょう 28
画像を刺しゅうデータに自動変換する（オートパンチ機能） 28
写真を自動的に刺しゅうデータに変換する（フォトステッチ機能） 32
原画から刺しゅうデータを作成する（デザインセンター） 36
刺しゅうデータを組み合わせる（レイアウトセンター） 47
ヒントとテクニック 61
刺しゅうデータの拡大・縮小について 61
縫い方向 61
縫い順 61
広い範囲を縫うときは 61
デザインセンターに原画を取り込む際のヒント 62
ステッチデータの一部を切り取る（ステッチ分割ツールを使用する） 63
美しい写真刺しゅうを作成する 63
刺しゅうに適した書体 64
抜き文字を作成する（図形データに変換した文字を使用する） 65
アルファベット以外の文字（中国語、韓国語など）を刺しゅうデータに変換する 66
困ったときは 67

お使いになる前に

クイックスタートガイドの読み方

本ガイドは、ソフトウェアを使い始めるのに必要な手順について、説明しています。説明に従って、ソフトウェアをインストールし、ソフトを使い始めるための準備をしてください。

また、本ガイドでは、ソフトウェアの使い方を理解していただくための基本的な操作を実例で紹介しています。

ソフトウェアの各機能や操作について詳しくは、各のソフトウェアのメニューバーの**ヘルプ**→**マニュアル**をクリックすると表示されるマニュアル (HTML 形式) を参照してください。

クイックスタートガイドの構成

お使いになる前に

ソフトウェアを使い始めるのに必要な手順を説明しています。

使ってみましょう

刺しゅうデータを作成するときの基本的な操作方法を説明しています。

- 画像を刺しゅうデータに自動変換する（オートパンチ機能）
- 写真を自動的に刺しゅうデータに変換する（フォトステッチ機能）
- 原画から刺しゅうデータを作成する（デザインセンター）
- 刺しゅうデータを組み合わせる（レイアウトセンター）

> **メモ：**
> 23 ページに示すマニュアル（HTML 形式）では、上記項目に加えてさまざまな機能や操作方法について説明しています。マニュアルもあわせてご参照ください。

ヒントとテクニック

知っていると便利な機能や操作方法について説明しています。

困ったときは

困ったときの対処方法を説明しています。

特長

バージョン 7 の新機能

■ 縫い方の設定

- 線の縫い方に、「3 重縫い」が追加されました。
- 面の縫い方に、「スティップリング」が追加されました。
- 下打ちの種類が増えました。
  - 面の縫い方の設定に新しい下打ちの種類を追加しました。
  - 下打ちは、サテン縫い、マニュアルパンチング、文字にも設定できるようになりました。
- マニュアルパンチングにモチーフ縫いを設定できるようになりました。
- 面にパイピング縫いを設定できるようになりました。
- サテン縫いの角のタイプを選べるようになりました。
  - 角のタイプは 2 種類あります。
- モチーフ縫いの縫い方設定が拡充されました。
  - モチーフの縦と横のスペースを指定できます。（「スペース」、「スペース横」と「スペース縦」）
  - モチーフのサイズを 100 × 100mm まで指定できます。

■ 編集機能とソフトウェアの設定

- 矢印キーを押し続けると、矢印の方向に移動し続ける機能が追加されました。
- よく使う縫い方を保存できるようになりました。

レイアウトセンター

- 新規作成したオリジナルフォントをレイアウトセンターで使えるようになりました。（フォントクリエイターで作成）
- ミニサイズ文字が追加されました。（最小文字サイズ 3.0mm）
- True Type フォントを使用して、アルファベット以外の文字 (中国語、韓国語など) からも刺しゅうデータを作成できるようになりました。
- モノグラム機能の飾り模様の種類が増えました。またモノグラム文字の部分に、内蔵フォント、True Type フォント、およびフォントクリエイターで作成したオリジナルフォントを使えるようになりました。
- テキストの個々の文字をドラッグして編集できるようになりました。文字間、サイズ、回転、基準線からのオフセットの変更は、個々の文字をドラッグして実行できるようになりました。文字の変形もドラッグしてできるようになりました。
- オートパンチ機能で、曲線の輪郭を作成できるようになりました。
- 曲線の形の編集機能が向上しました。
- ツールボックスに図形ツールが追加され、24 種類の図形が簡単に描画できるようになりました。
- 取り込み・書き出しができる刺しゅうデータのファイル形式が 6 種類増えました。次の形式をサポートしています。.pec、.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx、.phc（.pec と .phc は取り込みのみ）
- 画像表示のしかたで、画像表示の濃さを選択できるようになりました。
- レイアウトセンターで、画像ファイル、.pes ファイル、刺しゅうデータファイルをドラッグアンドドロップで開いたり、取り込んだりできるようになりました。
- フォトステッチ機能が向上しました。
  - 写真から刺しゅうデータをより簡単に作成できるようになりました。
  - 処理速度と色の選択が向上しました。
- 刺しゅう枠より大きいサイズの刺しゅうを作成できるようになりました。

デザインセンター

- 「輪郭線の設定」ダイアログボックスで色と色の境界線を抽出できるようになりました。
- 輪郭データステージのポイント編集に、線の接続と切断の機能が追加されました。
- 縫い方設定ステージで、輪郭線の一部の糸色を変えることができるようになりました。
- 縫い方設定ステージのツールバーに、レイアウトセンターへ刺しゅうデータを送るボタンが追加されました。
- 元に戻す / やり直しが、輪郭線画ステージでは 5 回、輪郭データステージと縫い方ステージでは 20 回までできるようになりました。
- 輪郭データステージに下絵を、また、縫い方設定ステージのリファレンスウィンドウで原画を表示できるようになりました。

デザインデータベース

- デザインデータベースからレイアウトセンターに、刺しゅうファイルをドラッグアンドドロップで開いたり取り込んだりできるようになりました。
- オリジナルカードに刺しゅうデータの書き込みができるようになりました。
- 印刷、CSV ファイル出力、ファイルプロパティ表示の情報に、糸番号が追加されました。

■ 全般

- オリジナルフォントを作成するためのフォントクリエイターが新しく追加されました。
- プログラム最新バージョンを自動的にチェックして更新できるようになりました。
- 画像や刺しゅうデータのサンプルファイルが新たに追加されました。

アプリケーションソフト

本製品には、4 つの刺しゅうデザイン作成ソフトと刺しゅうデータ管理ソフトが含まれています。

■ レイアウトセンター

レイアウトセンターは、原画から刺しゅうデータを自動的に作成したり、図形データや文字データを作成、編集しそれらを組み合わせて刺しゅうデータを作成したり、オリジナルカードに書き込むときに使います。原画は、お手持ちのスキャナで読み込んだ画像ファイルや、ペイント® のようなアプリケーションを使用して作成された画像ファイルを使うことができます。

また、刺しゅうデータの位置・角度・大きさの調整を行うことができます。

刺しゅうデータが完成したら、データを保存し、オリジナルカードに書き込みます。そのオリジナルカードをお使いのミシンに差し込み、刺しゅうデータを縫製できます。

■ デザインセンター

デザインセンターは、他のアプリケーションで作成された画像を原画として刺しゅうデータを作成するときに使います。原画から輪郭線を抽出して刺しゅうデータの図案を作り、そこに縫い方や糸色を設定します。縫い方には、ステッチクリエイターで作成したパターンも設定できます。作成した刺しゅうデータは、レイアウトセンターのデザインページに取り込んで、他の刺しゅうデータと組み合わせることができます。

刺しゅうデータは、次の 4 つのステージで作成します。

原画ステージ

原画ステージでは、ペイント ® 等のアプリケーションで作成された画像データや、スキャナ等で取り込んだ画像、クリップアートなど様々な画像を開くことができます。

使用できる画像データは、拡張子が .bmp、.tif、.jpg、.j2k、.pcx、.wmf、.png、.eps、.pcd、.fpx のいずれかのファイルです。その他のファイル形式の画像データは、お手持ちの変換ソフトウェアで上記のいずれかのファイル形式に変換して使用してください。

原画ステージでは、色の変更などの編集を行うことはできません。

輪郭線画ステージ

輪郭線画ステージに移動すると、原画は輪郭線画に変換されます。ステージを移動する前に、原画から輪郭線に変換する色を 1 ～ 5 色選択します。選択されていない色は白に変換されます。このステージでは、5 種類の太さのペンツールを使って、輪郭線画を修正することができます。

輪郭線画データステージで輪郭線画データを保存すると、ファイルの拡張子は .pel となります。

輪郭データステージ

輪郭データステージに移動すると、自動的に輪郭線画（黒い点の集まりで作られた線画）は、輪郭データ（線データで作られた線画）に変換されます。このステージでは、輪郭データのポイントを移動したり、削除したり、新しいポイントを挿入したりして、輪郭データを編集することができます。

輪郭データステージで輪郭データを保存すると、ファイルの拡張子は .pem となります。

縫い方設定ステージ

縫い方設定ステージで、輪郭線と面に縫い方や糸色などの設定を行い、刺しゅうデータを完成します。

縫い方設定ステージでデータを保存すると、ファイルの拡張子は .pem となります。

輪郭線画ステージ、輪郭データステージ、縫い方設定ステージで作業を中断しても、ファイルを保存しておけば、後で作業を再開できます。

■ステッチクリエイター

ステッチクリエイターでは、プログラムタタミ縫いやスタンプ、モチーフ縫いのパターンの作成、編集、保存ができます。作成したパターンは、デザインセンターやレイアウトセンターで、プログラムタタミ縫いやモチーフ縫いの他に、面に設定するスタンプとして利用できます。

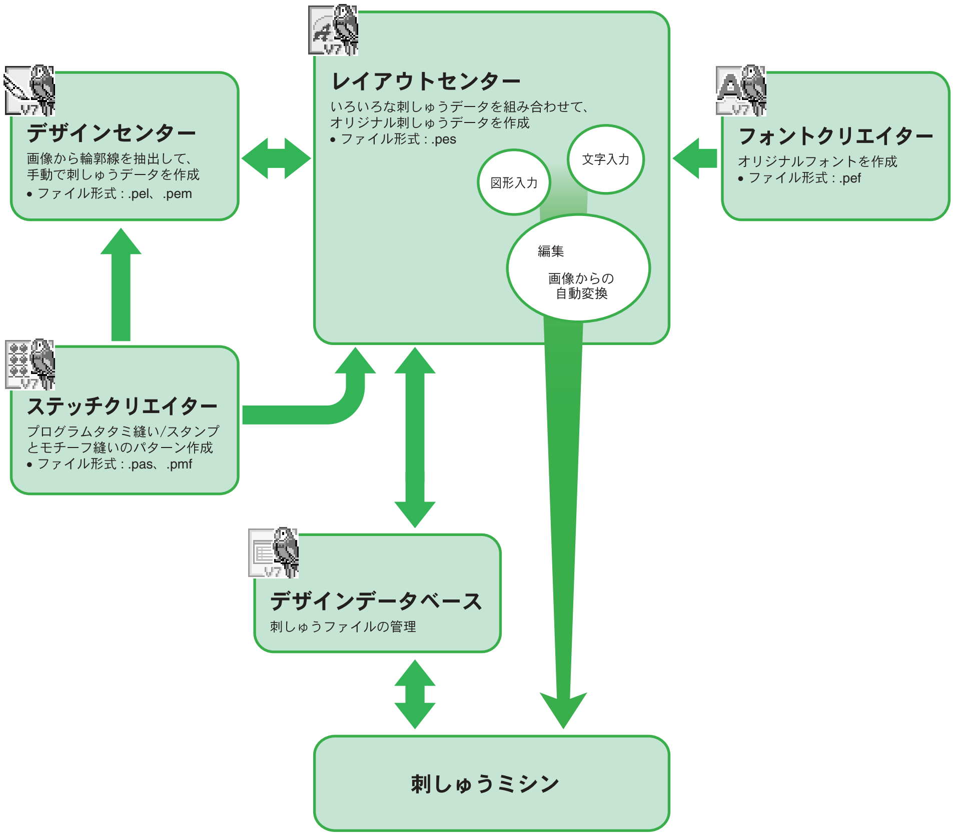
■フォントクリエイター

フォントクリエイターでは、オリジナルフォントの作成、編集、保存ができます。作成したオリジナルフォントは、レイアウトセンターで使用できます。

■デザインデータベース

デザインデータベースでは、パソコン上の刺しゅうファイルの管理を行うことができます。ファイルの整理や確認をしたり、使用したいファイルを検索しレイアウトセンターで開いたり取り込むことができます。また、ファイルの他フォーマットへの変換、カタログ印刷、HTML ファイルへの出力、複数ファイルの一括カード書き込みなどの機能も備えています。

操作の流れ



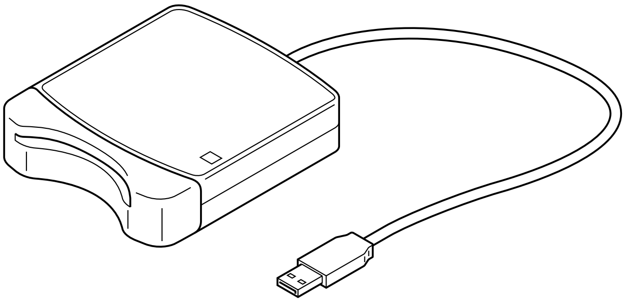
はじめに

同梱品の確認

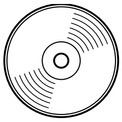
次の同梱品が全部そろっていること、それぞれに損傷のないことをお確かめください。同梱品が足りないときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

バージョン 7（フルバージョン）の場合：

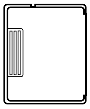
「カードライター」本体



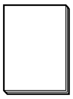
CD-ROM
（プログラム、マニュアル
（HTML 形式、PDF 形式）など）



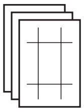
オリジナルカード



クイックスタートガイド

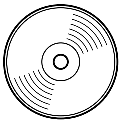


テンプレート *

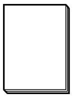


アップグレード版（バージョン 5 以降からバージョン 7 へ）の場合：

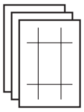
CD-ROM
（プログラム、マニュアル
（HTML 形式、PDF 形式）など）



クイックスタートガイド



テンプレート *

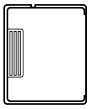


* テンプレートについては、マニュアル（HTML 形式、PDF 形式）の「分割模様を刺しゅうする」を参照してください。

> **注意：**
> アップグレード版には、カードライター本体とオリジナルカードは含まれていません。

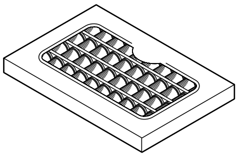
別売品について

■ オリジナルカード

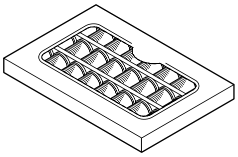


■ 刺しゅう糸

- ウルトラポス
  39 色セット（ETS39）



- ウルトラポス
  22 色セット（ETS22）

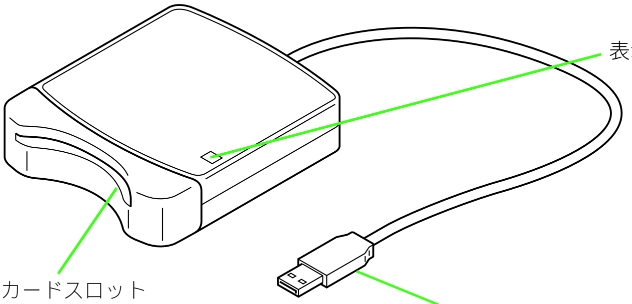


- 肌色ライト系
  5 色セット（ETS05L）
- 肌色ダーク系
  5 色セット（ETS05D）

注意：
本製品に使用できるオリジナルカードは、同梱のオリジナルカードもしくはそれと同等の別売品のオリジナルカードのみです。

メモ：
別売品は、お近くの販売店でお買い求めください。

各部の説明



表示 LED
電源が入っているときは点灯します。パソコンと通信を行っているときには点滅します。

注意：
点滅中はカードや USB コネクタの抜き差しをしないでください。

カードスロット
オリジナルカード / 刺しゅうカードを挿入します。

USB コネクタ
パソコンに接続します。

メモ：
- カードライターは、パソコンの USB コネクタから電源を得るので、電源ケーブル、電源スイッチなどはありません。
- オリジナルカードを、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所、静電気や衝撃が加わる場所で、使用、保管しないでください。また、カードを曲げないでください。

ソフトウェアのインストール（必ずお読みください。）

インストールを行う前に

- ソフトウェアのインストールを行う前に、ご使用になられるパソコンが動作環境を満たしているかどうかご確認ください。
- ソフトウェアのインストール時は、お使いのパソコンの管理者アカウント（Administrators）でログオンしてください。管理者アカウント（Administrators）でのログオンについて詳しくは、Windows の取扱説明書を参照してください。
- インストールの途中でキャンセルを行ったり、手順と違う操作を行うとインストールが正しくできません。
- パソコンの電源を入れる前に、必ずパソコンからカードライターの USB コネクタを抜いておいてください。

インストールの手順

インストール手順は、ソフトウェアがフルバージョンかアップグレードバージョンかによって異なります。必ず、次の手順でインストールを行ってください。

バージョン 7（フルバージョン）の場合

[ステップ 1] ソフトウェアをインストールする ☞ P.11

アップグレード版（バージョン 5 以降からバージョン 7 へ）の場合

[ステップ 1] ソフトウェアをインストールする ☞ P.11

[ステップ 2] カードライター本体をアップグレードする ☞ P.16

動作環境の確認

ソフトウェアのインストールを行う前に、ご使用になられるパソコンが以下の動作環境を満たしているかどうかご確認ください。

パソコン	IBM-PC またはその互換機
OS	日本語 Microsoft Windows 2000/XP/Vista
CPU 速度	Pentium III 800 MHz 以上推奨
メモリ	128 MB 以上（512 MB 以上推奨 ）
ハードディスクの空き容量	200 MB 以上
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）の解像度で、High Color（16 ビット）表示以上が必要（True Color 推奨）
USB ポート	1 つ以上
プリンタ	ご使用のシステムでサポートされているプリンタ（画像を印刷したい場合）
CD-ROM ドライブ	専用ソフトインストールのために必要

注意 :

- カードライターは、電源を USB コネクタから得ていますので、電源を充分供給することが可能なパソコンの USB コネクタ、もしくは自己電源タイプ（セルフパワータイプ）の USB ハブに接続してください。その他のコネクタに接続された場合、正しく動作しないことがあります。
- 自作のパソコン、拡張 USB ボードでは、正しく動作しないことがあります。

[ステップ 1] ソフトウェアをインストールする

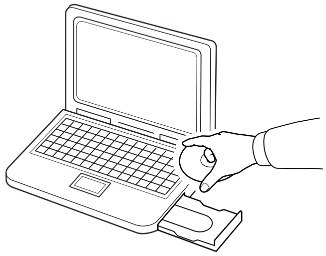
このセクションではアプリケーションソフトウェアのインストールを説明します。

注意：

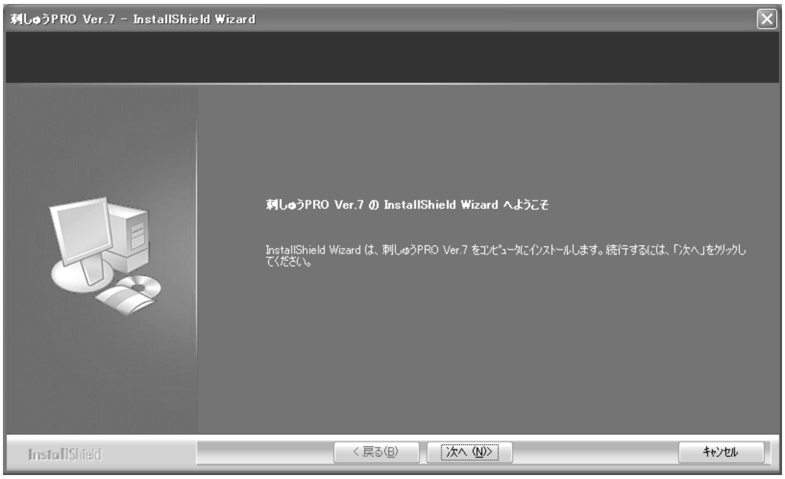
- インストールの途中でキャンセルを行ったり、手順と違う操作を行うとインストールが正しくできません。
- パソコンの電源を入れる前に、必ずパソコンからカードライターのUSBコネクタを抜いておいてください。
- ソフトウェアのインストール時は、お使いのパソコンの管理者アカウントでログオンしてください。
  管理者アカウントでログオンしていないとき、Windows Vista では途中で管理者アカウント（Administrators）のパスワードを要求される場合がありますので、パスワードを入力して操作を続けてください。

Windows XP または 2000 の場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。



→ インストールウィザードが起動し、最初のダイアログボックスが表示されます。



メモ：

インストールの手順は、Windows® XP の場合で説明しています。Windows 2000 の場合、画面や手順が若干異なる場合があります。

メモ：

プログラムのインストールが自動的に始まらない場合：

1. スタート ボタンをクリックします。
2. **ファイルを指定して実行**メニューをクリックします。
   → **ファイルを指定して実行**ダイアログボックスが表示されます。
3. プログラムのフルパス (*) を入力し、**OK** をクリックするとプログラムのインストールが起動します。
   (*) 例：D:￥setup.exe（CD-ROM が D ドライブのとき）

2 次へをクリックして、インストールを続行します。

メモ：

- **他のフォルダにインストールしたいとき：**
  1. **参照**をクリックします。
  2. **フォルダの選択**ダイアログボックスが表示されたら、ドライブとフォルダを選択します。（必要な場合はフォルダ名を入力します。）
  3. **OK** をクリックします。
     →インストールウィザードの**インストール先の選択**ダイアログボックスに、選択したフォルダが表示されます。
  4. **次へ**をクリックすると、選択したフォルダにインストールされます。
- 前の設定に戻る場合は、**戻る**をクリックします。
- インストールを中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

3 次へをクリックすると、標準設定（または選択した）のフォルダにインストールされます。

→ インストールが完了すると、次のダイアログボックスが表示されます。

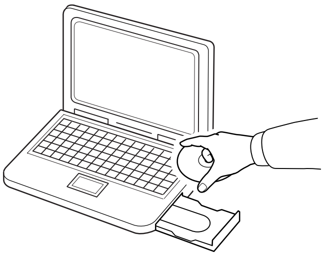
4 完了をクリックして、 インストールウィザードを終了します。

→ カードライターの USB コネクタをパソコンに接続してください。

→すべてのプログラム→刺しゅう **PRO Ver.** 7 から刺しゅう PRO のアプリケーションを起動することができます。

Windows Vista の場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。



→ 自動再生ダイアログが起動します。

メモ：

自動再生ダイアログが起動しない場合：

1. ボタンをクリックし、すべてのプログラム→アクセサリ→ファイル名を指定して実行を選択します。
   →実行ダイアログボックスが表示されます。
2. プログラムのフルパス（*）を入力し、OK をクリックするとプログラムのインストールが起動します。

（*） 例：D:￥setup.exe（CD-ROM が D ドライブのとき）

❷ **setup.exe の実行をクリックします。**

→ ユーザアカウント制御ダイアログが表示されます。

❸ **続行をクリックします。**

→ インストールウィザードが起動し、最初のダイアログボックスが表示されます。

4 **次へをクリックして、インストールを続行します。**

→ ダイアログボックスが表示され、インストール先のフォルダを選択できるようになります。

> **メモ：**
>
> • **他のフォルダにインストールしたいとき：**
>
> 1.**参照**をクリックします。
>
> 2.**フォルダの選択**ダイアログボックスが表示されたら、ドライブとフォルダを選択します。（必要な場合はフォルダ名を入力します。）
>
> 3.**OK** をクリックします。
>
> →インストールウィザードの**インストール先の選択**ダイアログボックスに、選択したフォルダが表示されます。
>
> 4.**次へ**をクリックすると、選択したフォルダにインストールされます。
>
> • 前の設定に戻るには、**戻る**をクリックします。
>
> • インストールを中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

5 **次へをクリックして、標準設定の（または選択した）フォルダにインストールします。**

→ インストールが完了すると、次のダイアログボックスが表示されます。

6 **完了をクリックして、インストールウィザードを終了します。**

→ カードライターの USB コネクタをパソコンに接続してください。

→すべてのプログラム→刺しゅう PRO Ver. 7 から刺しゅう PRO のアプリケーションを起動することができます。

[ステップ 2] カードライター本体をアップグレードする

カードライター本体をバージョン 7.0 へアップグレードする方法について説明します。バージョン 5.0 以降からアップグレードする場合は、カードライター本体のアップグレードも必要です。ソフトウェアをインストールしたら、次の手順に従ってカードライター本体をバージョン 7.0 へアップグレードしてください。

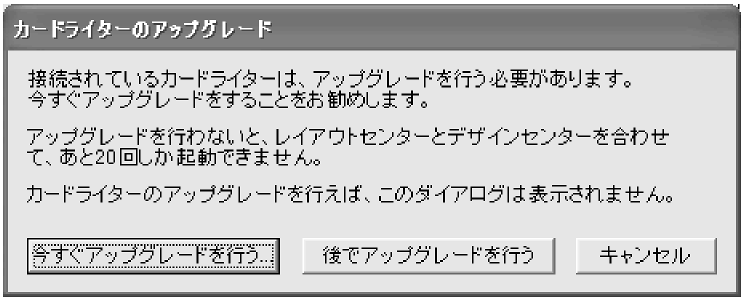
注意：
- カードライター本体をアップグレードするには、インターネットに接続する必要があります。インターネットに接続できない場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。
- ファイアウォール機能を使用しているときは、アップグレードができない場合があります。その場合は、一時的にファイアウォール機能を停止してください。

1 **カードライターをパソコンの USB ポートに接続します。**

2 **レイアウトセンターを起動します。**

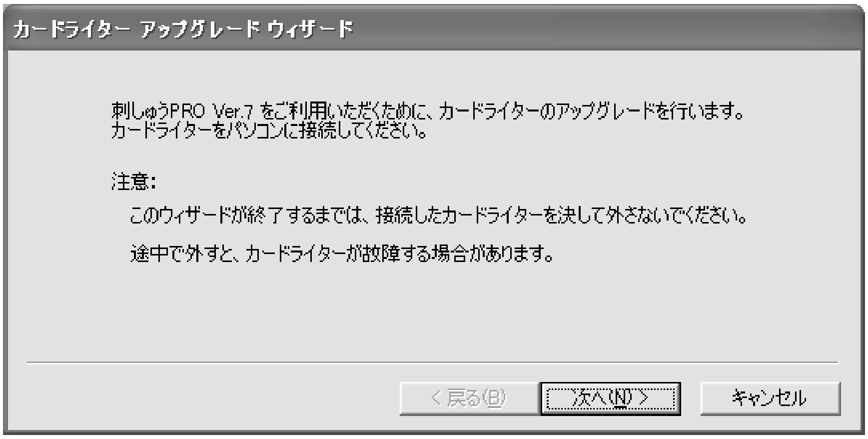
スタート をクリックし、すべてのプログラム→刺しゅう **PRO Ver.** 7 →レイアウトセンターを選択してレイアウトセンターを起動します。

→ 次のダイアログボックスが表示されます。



3 **今すぐアップグレードを行うをクリックして、アップグレードを続行します。**

→ アップグレードウィザードが起動し、次のダイアログボックスが表示されます。



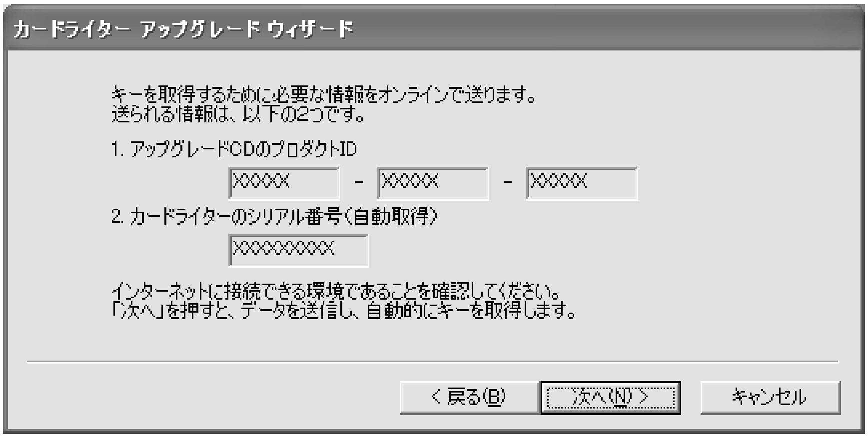
4 次へをクリックします。

5 CD-ROMケースに付いているラベルの15桁のプロダクトIDを入力し、次へをクリックします。

注意：

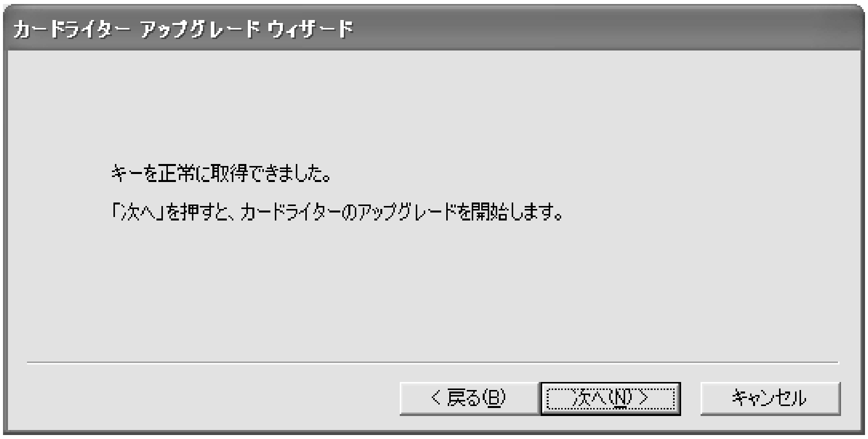
- 間違ったプロダクトIDを入力すると、「プロダクトIDが正しくありません。タイプミスがないか確認してください。」とメッセージが表示されます。
- アルファベットの「I（アイ）」、「O（オー）」はプロダクトIDには使われていません。

→ 入力したプロダクト ID とカードライター本体から自動的に取り込まれたシリアル番号が表示されます。



6 次へをクリックします。インターネット経由で当社のサーバにアクセスしアップグレードキーを取得します。

→ アップグレードキーが正常に取得されると、次のダイアログボックスが表示されます。



7 次へをクリックし、カードライター本体のアップグレードを開始します。

→ アップグレードが正常に完了すると、次のダイアログボックスが表示されます。

注意：

警告が表示された場合は、表示された手順に従って操作してください。

オンライン登録

アップグレード等のご連絡や、今後の製品開発・改良の貴重な資料とさせていただくため、ユーザー登録をお願いしております。本製品は登録手続きを短時間で行えるようにオンラインでユーザー登録できるようになっております。
レイアウトセンターの**ヘルプ**メニューの**オンライン登録**をクリックすると、インストールされているブラウザが起動し弊社の「オンラインユーザー登録」のページが開きます。

最新のプログラムにアップデートする

お使いの刺しゅうPRO Ver.7 を最新のプログラムにするには以下の 2 つの方法があります。

> **メモ：**
> Windows Vista をお使いのお客様には、方法 1 によるアップデートを推奨します。

> **注意：**
> • 最新のプログラムにアップデートする場合は、お使いのパソコンの管理者アカウント（Administrators) でログオンしてください。管理者アカウント（Administrators）でのログオンについて詳しくは、Windows の取扱説明書を参照してください。
> • インターネットに接続していないパソコンではこの機能は使用できません。

方法 1 ：刺しゅうPRO Ver.7 のホームページからアップデートプログラムをダウンロードしてインストールする

1. レイアウトセンターを起動します。

をクリックし、すべてのプログラム→刺しゅう **PRO Ver.** 7→レイアウトセンターを選択してレイアウトセンターを起動します。

2. 刺しゅうPRO Ver.7 のホームページを開きます。

レイアウトセンターの**ヘルプ**→**刺しゅう PRO WEB ページ**をクリックします。

3. アップデートプログラムをダウンロードしてインストールします。

ホームページに最新のアップデートプログラムの情報が表示されます。ページ上に表示されるダウンロードの方法とアップデートの方法に従って操作します。

> **注意：**
> インストールする際は、レイアウトセンターおよび他の刺しゅう PRO のアプリケーションを全て終了してください。

方法 2 ：レイアウトセンターのソフトウェアの更新確認機能を使用する

レイアウトセンターのソフトウェアの更新確認機能を使用して、最新のプログラムになっているか自動的にチェックし、アップデートします。

1. レイアウトセンターを起動します。

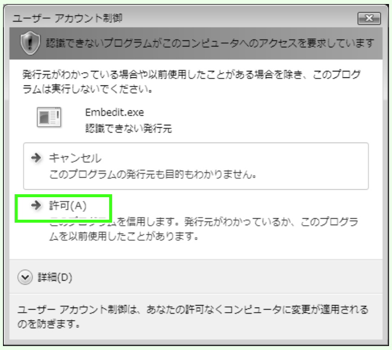
をクリックし、すべてのプログラム→刺しゅう **PRO Ver.** 7→レイアウトセンターを選択してレイアウトセンターを起動します。

注意：

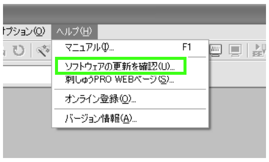
Windows Vista の場合は、以下の手順でレイアウトセンターを起動してください。

1.メニューでレイアウトセンターをポイントし、右クリックすると、下図のようなポップアップメニューが表示されます。**管理者として実行**をクリックしてください。

2.ユーザアカウント制御ダイアログが表示されるので、**許可**をクリックしてください。

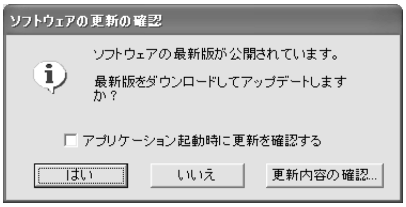


2. レイアウトセンターの**ヘルプ→ソフトウェアの更新を確認**をクリックします。



→ 以下のメッセージが表示された場合は、プログラムは最新になっています。

→ 以下のメッセージが表示された場合は、プログラムは最新になっていません。**はい**をクリックすると、Web から最新のプログラムがダウンロードされます。



メモ：

アプリケーション起動時に更新を確認するをチェックすると、プログラムの起動時に毎回最新のプログラムになっているかチェックします。
更新内容の確認をクリックすると、変更内容が表示されます。

3. ダウンロードが終了したら、レイアウトセンターおよび他の刺しゅうPRO のアプリケーションを全て終了してください。

4. レイアウトセンターを再起動します。

注意：

Windows Vista の場合は、管理者として実行をクリックして再起動してください。 ☞**P.20**

以上でアップデート作業は完了です。

ソフトウェアのアンインストール

1.

ボタンをクリックし、**コントロールパネル**を選択します。

2. 表示されたコントロールパネルウィンドウで**プログラムの追加と削除**アイコンをダブルクリックします。

3. 表示されたダイアログボックスで、**刺しゅう PRO Ver. 7** を選択して、**削除**をクリックします。

注意：

- アンインストールの手順は Windows XP の場合で説明しています。
- Windows 2000 の場合は、スタートメニューの設定を選択してから、**コントロールパネル**をクリックします。表示されたコントロールパネルウィンドウで**アプリケーションの追加と削除**アイコンをダブルクリックします
- Windows Vista の場合は、 ボタンをクリックし、コントロールパネルをクリックし**アンインストール**をクリックします。

マニュアルの読み方

ソフトウェアをインストールすると、マニュアル（HTML 形式）はスタートメニューまたは各ソフトウェアから見ることができます。

マニュアル (HTML 形式) の構成

ソフトウェアの各機能や操作について、簡単に理解できるよう説明されています。ソフトウェアの各メニューコマンドやツールを使用する際には、マニュアルをお読みいただき、内容をご理解の上、正しくお使いください。また、トラブル発生時の対策方法についても説明しています。

基本操作

基本的な操作方法や機能を説明しています。以下の内容を「使ってみましょう」で説明しています。

- 画像を刺しゅうデータに自動変換する (オートパンチ機能)
- 画像を刺しゅうデータに自動変換する（クロスステッチ機能）
- 写真を自動的に刺しゅうデータに変換する (フォトステッチ機能)
- 原画から刺しゅうデータを作成する（デザインセンター）
- 刺しゅうデータを配置する (レイアウトセンター)
- 刺しゅうデザインファイルの管理 (デザインデータベース)
- モノグラムを作成する (レイアウトセンター)
- アップリケを作成する

応用操作

各機能と操作方法を詳しく説明しています。また、以下の内容を「使ってみましょう（上級編）」で説明しています。

- 写真を自動的に刺しゅうデータに変換する（フォトステッチ機能）
- オリジナルフォントをマニュアルで作成する (フォントクリエイター)
- 分割模様の刺しゅうデータを作成する

やりたい操作を探す

内容を知りたい操作を選び、関係する項目を表示します。

アプリケーションから探す

アプリケーションごとの機能や操作方法を探すことができます。

困ったときは

サポート情報を掲載しているホームページのアドレスをお知らせします。

索引

キーワードから、知りたい内容を探します。

システム環境

マニュアル（HTML 形式）をご覧いただくには、以下の環境を推奨いたします。

ブラウザ：Microsoft Internet Explorer® Ver.5.01 またはそれ以上

マニュアルを開く

注意：
マニュアルを開く前に、ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。詳しくは、P.9 の「ソフトウェアのインストール（必ずお読みください。）」を参照してください。

■ スタートメニューから

1.

をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅう PRO Ver.7 →マニュアル**を選択します。
導入ページが表示されます。

2. **マニュアルを開く**をクリックします。

マニュアルが表示されます。

操作ボタン
画面の切り替え、テキストの印刷などを行えます。

サポートメニュー
マニュアルの操作方法や、刺しゅうPRO に関する情報を表示します。

タイトルメニュー
メインメニューの知りたい操作のボタンをクリックして、説明を表示します。

■ 各ソフトウェアのヘルプメニューから

ここでは、レイアウトセンターを例にして、マニュアルを開く方法を説明します。

1. **ヘルプ→マニュアル**を選択します。

2. **マニュアルを開く**をクリックします。

マニュアルが表示されます。

3. 知りたい項目のボタンをクリックします。

マニュアル（PDF 形式）

マニュアルを印刷する場合は、PDF 形式のマニュアルを使用してください。PDF 形式のマニュアルのファイルは、C（刺しゅう PRO がインストールされているドライブ）:¥Program Files¥Brother¥刺しゅう PRO Ver.7¥Manual フォルダに収録されています。

> **メモ：**
>
> PDF 形式のマニュアルを見たり、印刷したりするには、Adobe®Reader® が必要です。

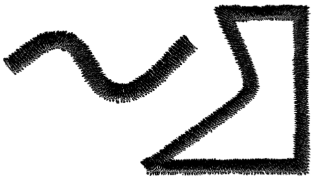
縫い方の種類

各縫い方の設定は、初期設定では標準値が設定されていますが、設定を変更して独自のステッチを作成できます。

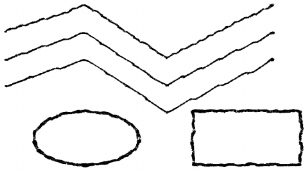
☞ 詳しくはパソコンにインストールされるマニュアルより「線の縫い方」と「面の縫い方」の項目を参照してください。

■ 線の縫い方の種類

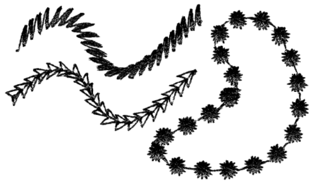
サテン縫い



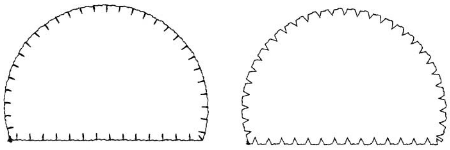
走り縫い /3 重縫い



モチーフ縫い

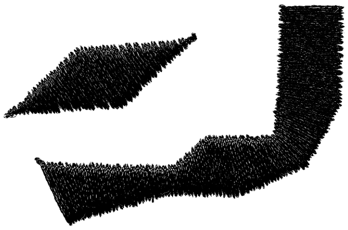


E/V ステッチ

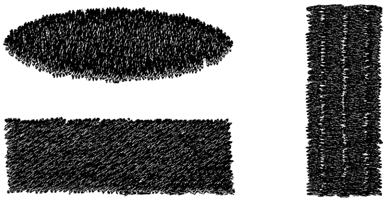


■ 面の縫い方の種類

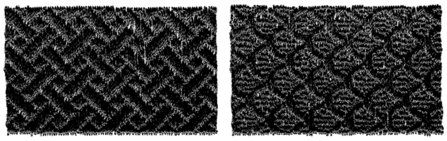
サテン縫い



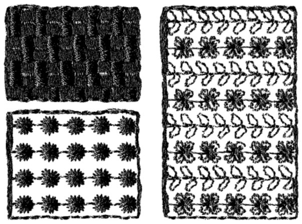
タタミ縫い



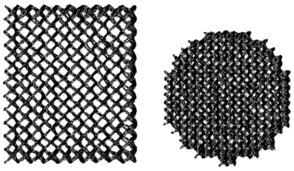
プログラムタタミ縫い



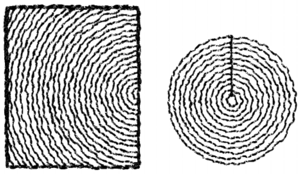
モチーフ縫い



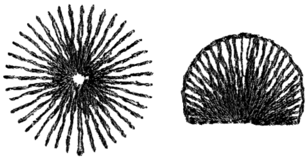
クロスステッチ



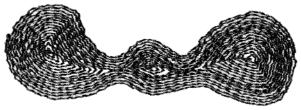
同心円縫い



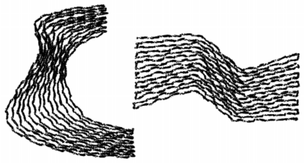
放射縫い



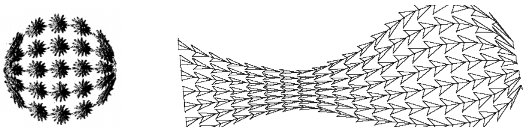
渦巻き縫い



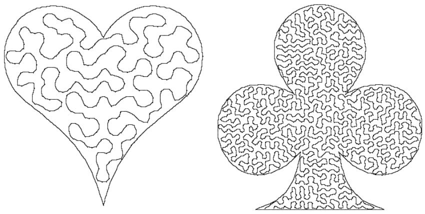
パイピング縫い



パイピング縫い（モチーフ設定）



スティップリング



メモ：

プログラムタタミ縫いとモチーフ縫いは、選択する縫い方によって模様が変わります。
詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「プログラムタタミ縫い」と「モチーフ縫い」の項目を参照してください。

画像を刺しゅうデータに自動変換する（オートパンチ機能）

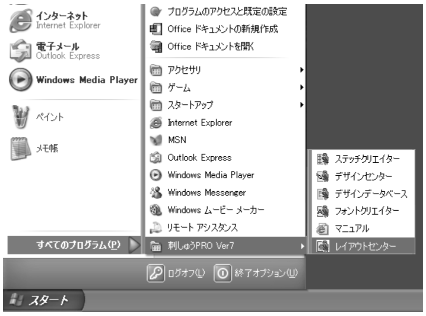
ここでは、オートパンチ機能を使って自動的に画像から刺しゅうデータを作成します。
この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ **1**	レイアウトセンターに画像データを取り込む
ステップ **2**	画像を刺しゅうデータに自動変換する
ステップ **3**	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ **4**	刺しゅうデータを保存する
ステップ **5**	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

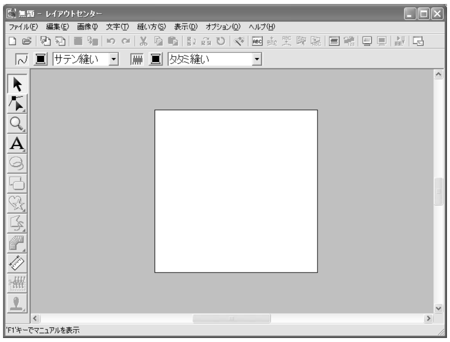
ステップ1 レイアウトセンターに画像データを取り込む

まず、刺しゅうデータに変換する画像（原画）を取り込みます。
ここでは、アプリケーションに付属しているチューリップの画像（tulip.bmp）を使用します。

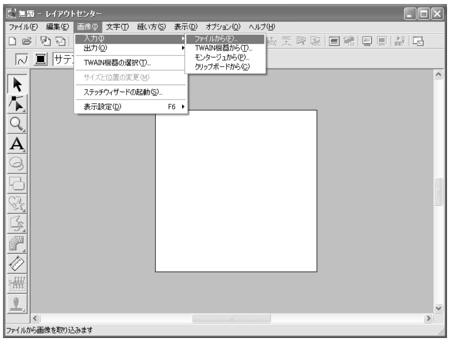
1 カードライターを接続して、レイアウトセンターを起動します。



をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅう PRO Ver.7 →レイアウトセンター**を選択します。

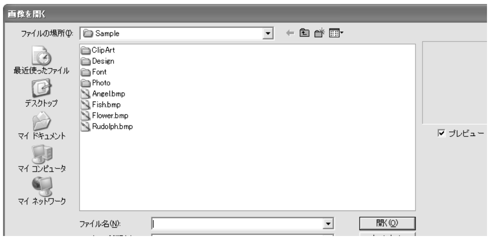


2 画像を取り込みます。



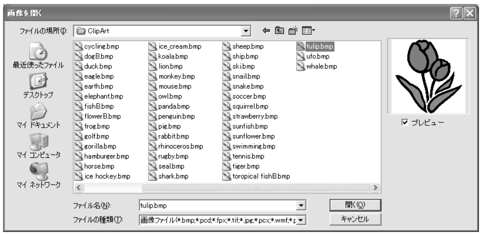
メニューバーの**画像→入力→ファイルから**をクリックします。

> **メモ：**
> デザインページの標準サイズは、100×100mmです。



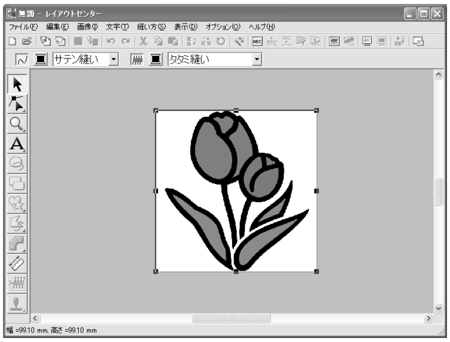
ClipArt フォルダをダブルクリックして開きます。

> **メモ：**
> Sample フォルダは￥Program Files￥Brother￥刺しゅう PRO Ver.7￥Sample にあります。

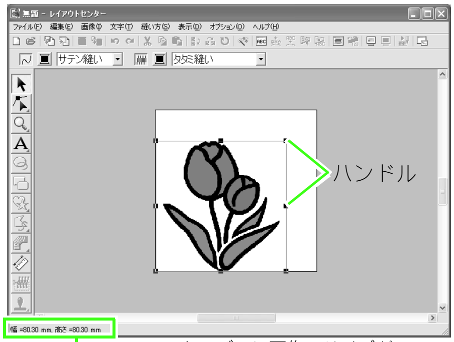


サンプルファイル **tulip.bmp** を選択し、**開く**をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。

→ 画像が作業領域に表示されます。

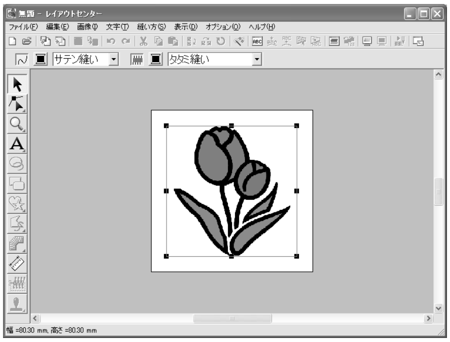


③ 画像のサイズや位置を調整します。



ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

> **メモ：**
> ハンドルが見えなくなった場合は、画像を右クリックして表示されたメニューから**画像のサイズと位置**をクリックします。

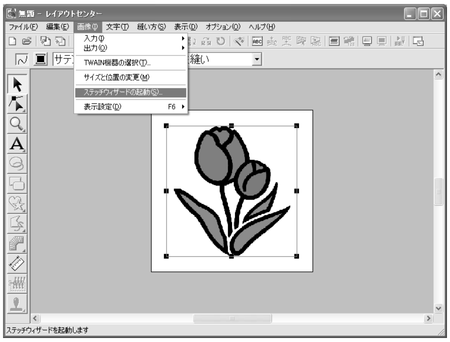


画像の上にカーソルを移動し、希望する位置までドラッグします。

ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換する

次に、画像を自動的に刺しゅうデータに変換します。

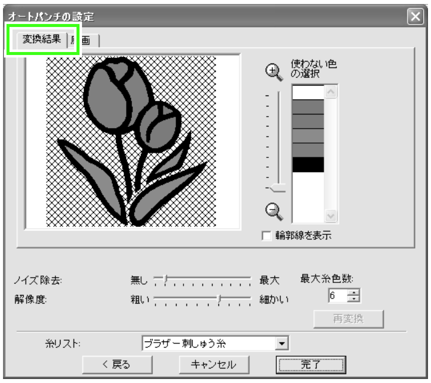
① 変換方法を選択します。



メニューバーの**画像→ステッチウィザードの起動**をクリックします。

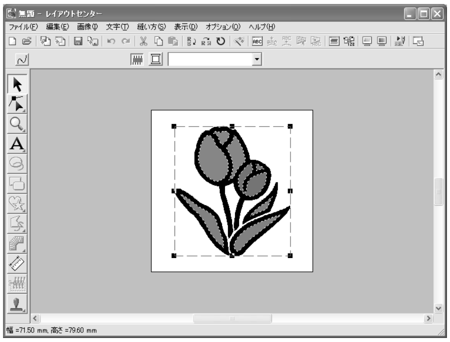
オートパンチを選択し、**次へ**をクリックします。

❷ 画像を刺しゅうデータに自動変換します。



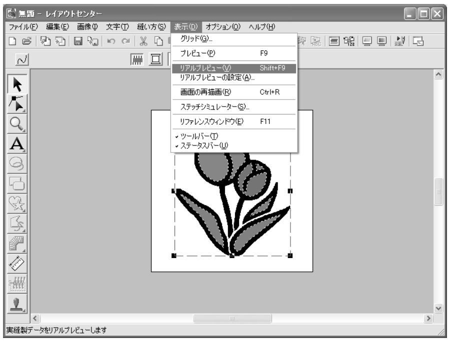
変換結果を確認して、**完了**をクリックします。

→ 変換された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。

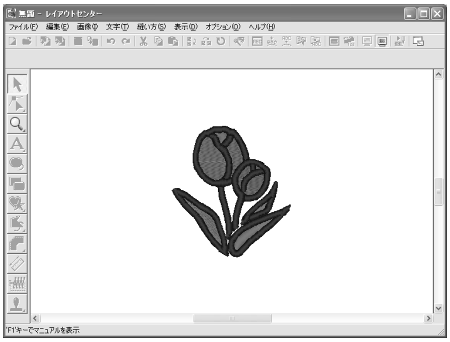


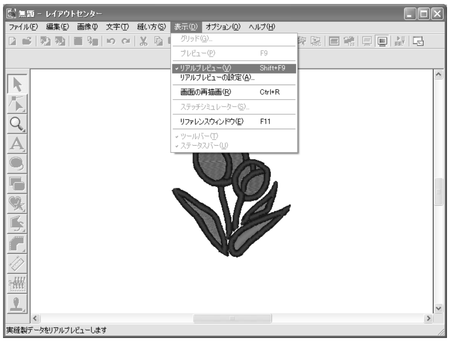
ステップ3 刺しゅうデータをプレビューする

完成した刺しゅうデータをプレビューします。



メニューバーの**表示→リアルプレビュー**をクリックします。

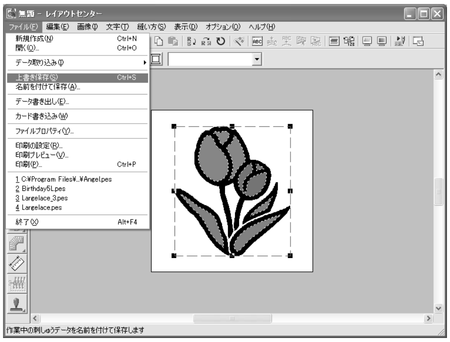




通常表示に戻すには、**表示→リアルプレビュー**をクリックするか、Esc キーを押します。

ステップ4 刺しゅうデータを保存する

刺しゅうデータが完成したら、後で呼び出せるように保存できます。



ファイル→上書き保存をクリックします。

ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

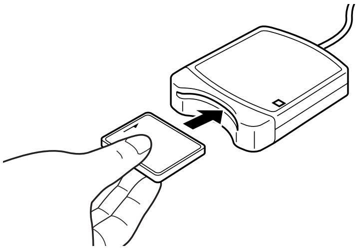
保存をクリックします。

ステップ5 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

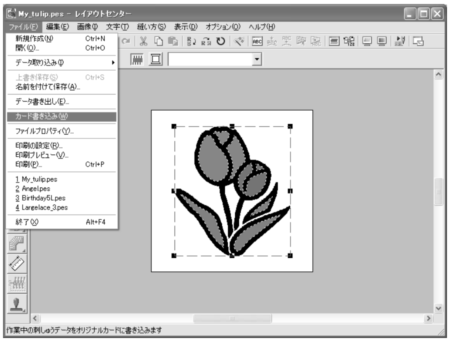
> **メモ：**
> 他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USB メモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

1. **オリジナルカードをカードライターに挿入します。**



> **注意：**
> オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

2. **刺しゅうデータを転送します。**



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

OK をクリックします。

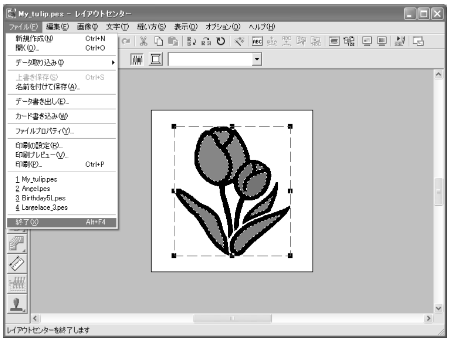
> **注意：**
> データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。

OK をクリックします。

> **注意：**
> - カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
> - オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

3. **レイアウトセンターを終了します。**



メニューバーの**ファイル→終了**をクリックします。

写真を自動的に刺しゅうデータに変換する（フォトステッチ機能）

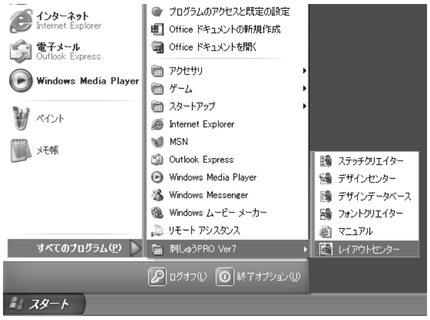
ここでは、フォトステッチ機能を使って、自動的に写真から刺しゅうデータを作ります。
この手順は、次のような操作の流れになっています。自動補正された「候補」から最適なプレビューを選択する方法で設定を行い、自動的に刺しゅうデータに変換します。

ステップ **1**	レイアウトセンターに写真データを取り込む
ステップ **2**	画像を刺しゅうデータに自動変換する
ステップ **3**	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ **4**	刺しゅうデータを保存する
ステップ **5**	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

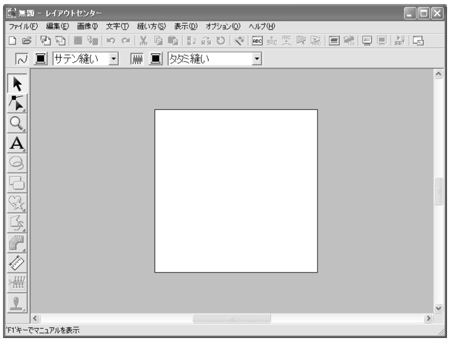
ステップ1 レイアウトセンターに写真データを取り込む

まず、刺しゅうデータに変換する画像（原画）を取り込みます。
ここでは、アプリケーションに付属している少女の写真（girl-face.bmp）を使用します。

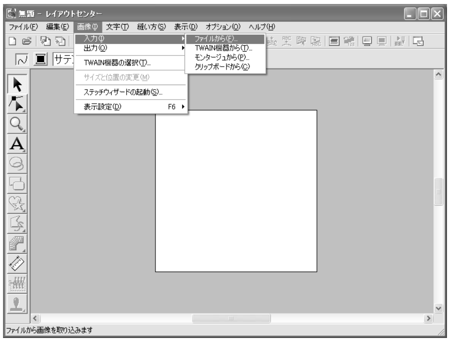
1 **カードライターを接続して、レイアウトセンターを起動します。**



をクリックし、次に**すべてのプログラム→刺しゅう PRO Ver.7 →レイアウトセンター**を選択します。



2 **画像を取り込みます。**



メニューバーの**画像→入力→ファイルから**をクリックします。

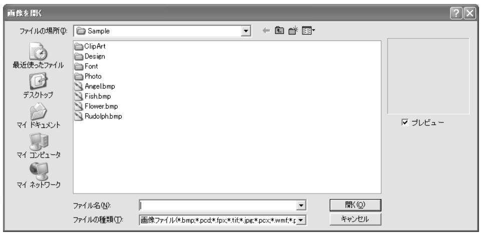
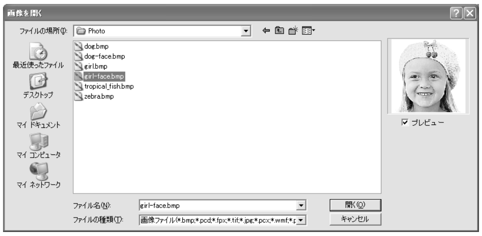
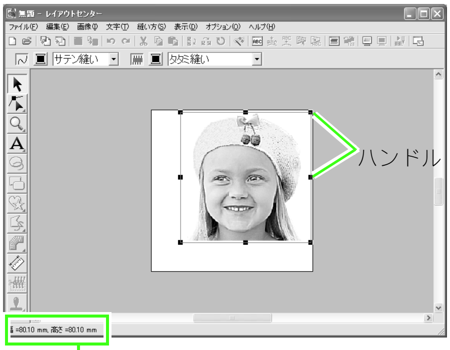


Photo フォルダをダブルクリックして開きます。



サンプルファイル **girl-face.bmp** を選択し、**開く**をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。

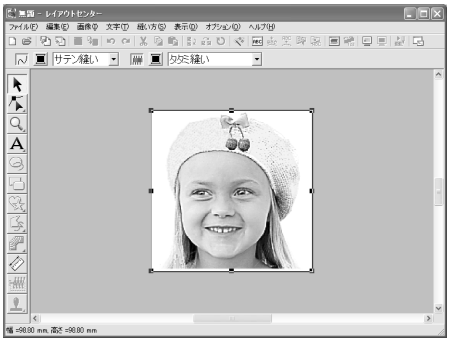
3 画像のサイズや位置を調整します。



ステータスバーに画像のサイズが
表示されます。

ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

> **メモ：**
> ハンドルが見えなくなった場合は、画像を右クリックして表示されたメニューから**画像のサイズと位置**をクリックします。

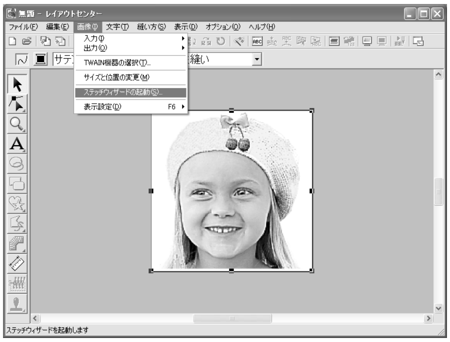


画像の上にカーソルを移動し、希望する位置までドラッグします。

ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換する

次に、画像を自動的に刺しゅうデータに変換します。

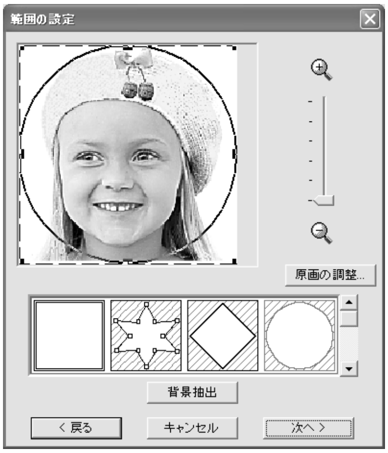
1 変換方法を選択します。



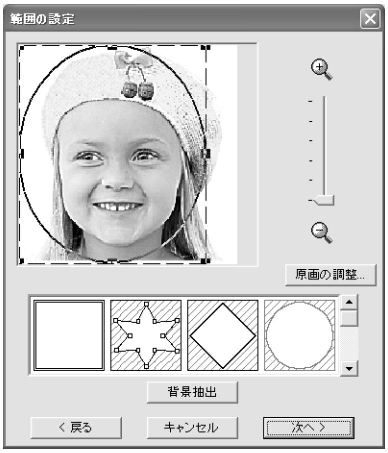
メニューバーの**画像→ステッチウィザードの起動**をクリックします。

フォトステッチ 1 を選択し、**カラー**を選択してから、**次へ**をクリックします。

2 刺しゅうデータに変換する写真の領域（マスクの形状と位置）を調整します。



マスクの形状を選択します。



ハンドルをドラッグして、マスクのサイズを調整します。

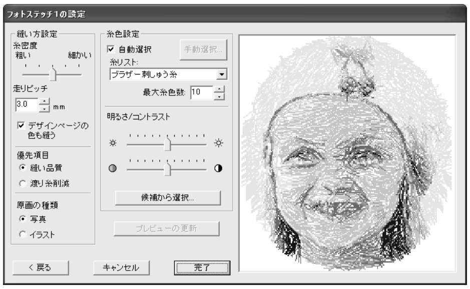
マスクの内側にカーソルを移動し、マスクの位置を調整して、**次へ**をクリックします。

変換する領域のプレビューを確認して、**次へ**をクリックします。

メモ：

刺しゅうデータが作成されない部分は、X マークで埋められます。

3 画像を刺しゅうデータに自動変換します。



候補から選択をクリックします。

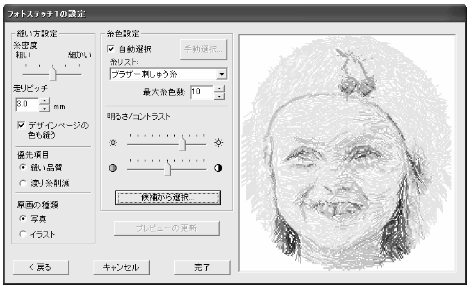
メモ：

画像を刺しゅうデータに変換するときに、変換のパラメーターをそれぞれ変更できます。（詳しくは、マニュアルを参照してください。）

→ オリジナルの画像を基準として、明るさとコントラストが自動補正された6種類のプレビューが、**候補から選択**ダイアログボックスに表示されます。選択されているプレビューが、現在の設定のプレビューです。

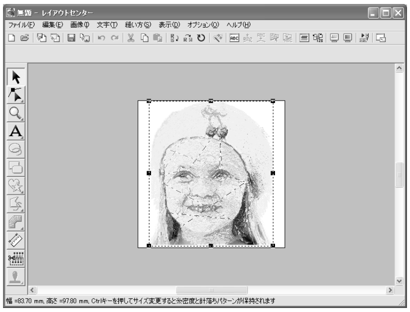
設定したい候補を選択し、**OK** をクリックします。

→ 選択したプレビューがプレビュー画面に表示されます。



プレビューを確認して、**完了**をクリックします。

→ 変換された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます



ステップ3 刺しゅうデータをプレビューする

P.30 の「刺しゅうデータをプレビューする」を参照してください。

ステップ4 刺しゅうデータを保存する

P.30 の「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。

ステップ5 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

P.31 の「オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む」を参照してください。

原画から刺しゅうデータを作成する（デザインセンター）

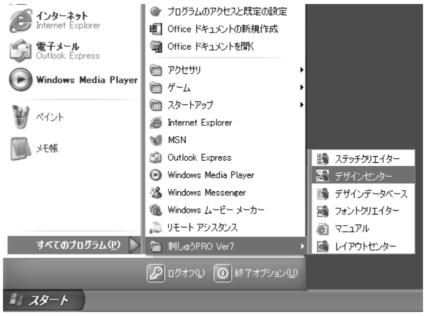
マニュアルで原画から刺しゅうデータを作ってみましょう。
この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ**1**	原画データを取り込む （原画ステージ）
ステップ**2**	色の選択による原画の輪郭の抽出
ステップ**3**	輪郭線画を編集する （輪郭線画ステージ）
ステップ**4**	縫い方を設定する （縫い方設定ステージ）
ステップ**5**	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ**6**	刺しゅうデータを保存する
ステップ**7**	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

ステップ1 原画データを取り込む（原画ステージ）

まず、刺しゅうデータに変換する原画を取り込みます。
ここでは、アプリケーションに付属している花の画像（**Flower.bmp**）を使用します。

1 カードライターを接続して、デザインセンターを起動します。

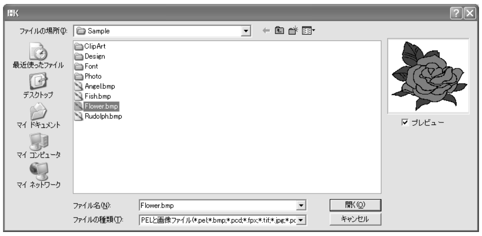


をクリックし、次に**すべてのプログラム→刺しゅう PRO Ver.7 →デザインセンター**を選択します。

をクリックします。

2 原画ファイルを開きます。

をクリックします。

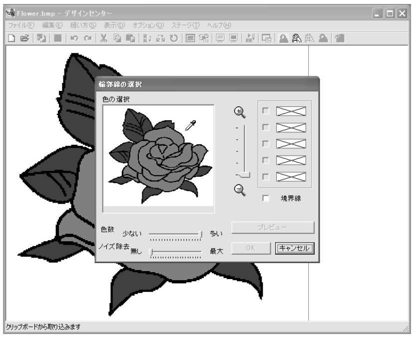


サンプルファイル **Flower.bmp** を選択し、**開く**をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックしてファイルを開きます。

→ 原画（画像ファイル）が、デザインページと**輪郭線の選択**ダイアログボックスに表示されます。

ステップ2 色の選択による原画の輪郭の抽出

原画（画像ファイル）を開いたら、輪郭線（刺しゅうの輪郭線）に使用する色を選択する輪郭線画ステージに移動します。

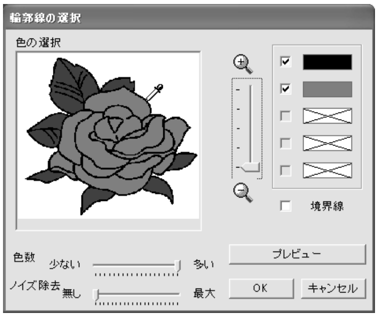


カーソルを原画上に移動します。

→ カーソルの形が に変わります。

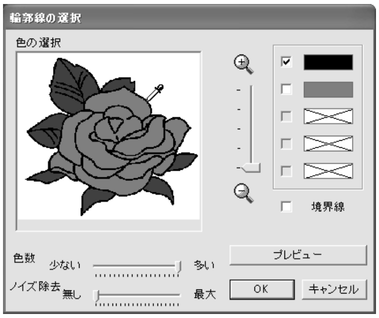
メモ：

ズームスライダを上下に動かすと、原画の表示倍率を調整できます。拡大表示されているときは、スクロールすると別の部分を表示できます。



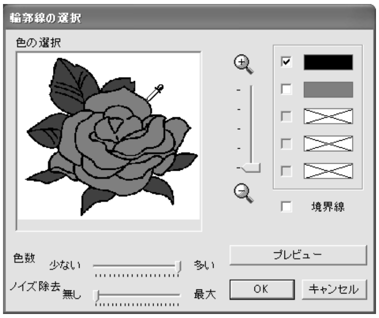
輪郭線をクリックします。

→ クリックした部分の色が右側のボックスに表示されます。チェックボックスに ✔ が表示されてその色が選択されたことを示します。

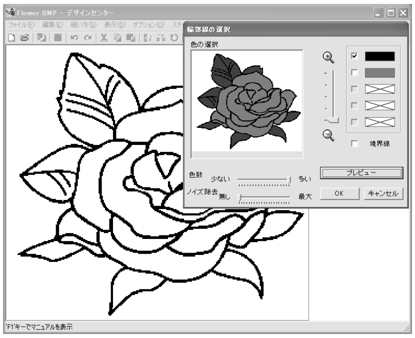


メモ：

輪郭線以外の色を選択してしまった場合は、その色の横にあるチェックボックスのチェックを外すと、選択が解除されます。



プレビューをクリックして、輪郭線画のプレビューを確認します。



プレビューが思い通りの輪郭線画で表示されたら、**OK** をクリックします。

メモ：

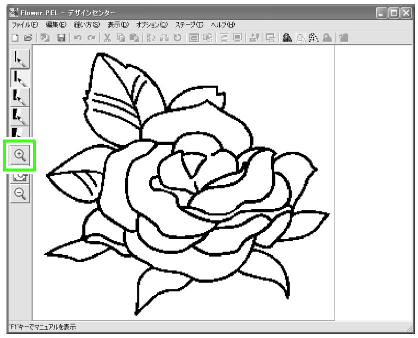
プレビューがダイアログボックスに隠れて見えない場合は、タイトルバーにカーソルを置き、ダイアログボックスをドラッグして、ダイアログボックスを使いやすい位置に移動してください。

→ 輪郭線画がデザインページに表示されます。

ステップ3 輪郭線画を編集する（輪郭線画ステージ）

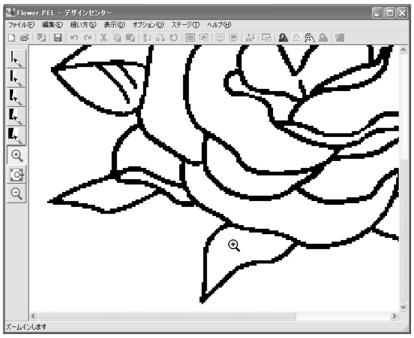
輪郭線画の線の修正が必要になることがあります。面部は、線や交差する線によって囲まれていることを確認してください。
ここでは、葉脈を追加し、葉を取り除きます。
輪郭線画の編集が終わったら、輪郭データステージに移動して、線画を輪郭データに変換します。

1 葉脈を追加します。



をクリックします。

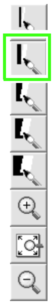
→ 作業領域にカーソルを移動すると、カーソルの形が に変わります。



葉脈を追加する葉をクリックします。

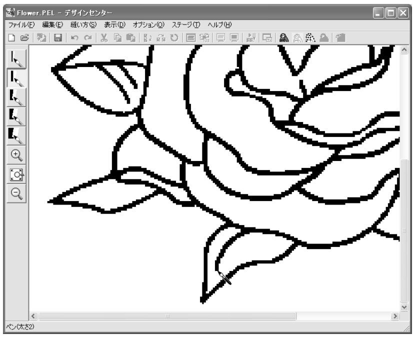
メモ：

- 輪郭線画をさらにズームインするには、線画を繰り返しクリックします。
- 特定の部分をズームインするには、目的の場所を囲むようにドラッグします。ドラッグすると点線の四角形が表示され、マウスボタンを放すと選択した領域がズームインされます。
- ズームアウトするには、 をクリックしてから線画をクリックします。



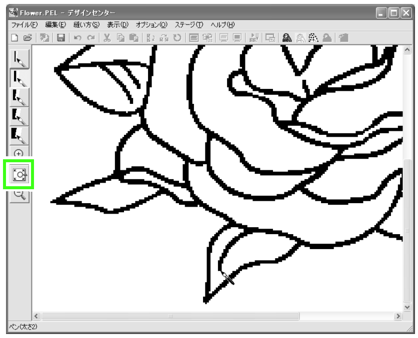
をクリックします。

→ 作業領域にカーソルを移動すると、カーソルの形が に変わります。



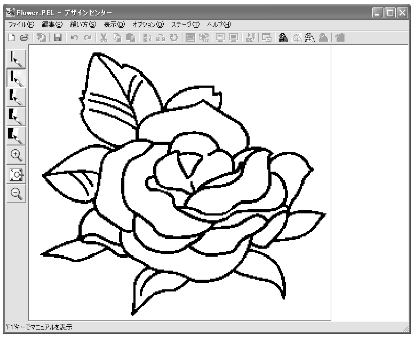
左マウスボタンを押したまま、カーソルをドラッグして葉脈を描きます。

2 葉を取り除きます。



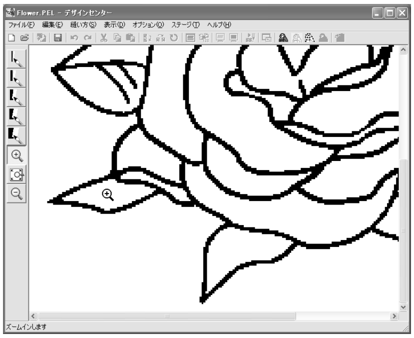
をクリックして、輪郭線画全体のプレビューを表示します。

→ デザインページがデザインセンター画面いっぱいに表示されます。



をクリックします。

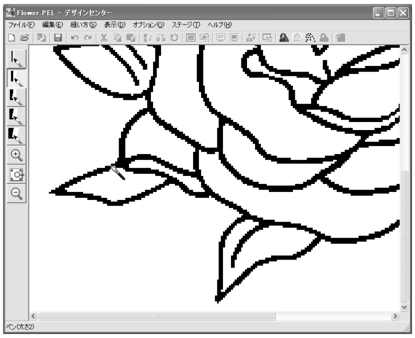
→ 作業領域にカーソルを移動すると、カーソルの形が に変わります。



取り除きたい葉をクリックします。

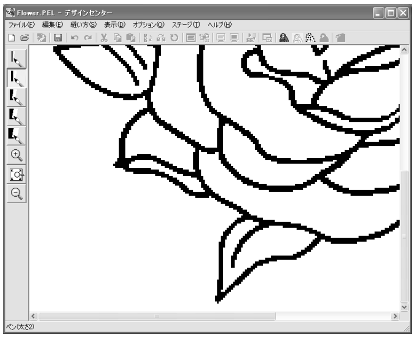
をクリックします。

→ カーソルを作業領域に移動すると、カーソルの形が に変わります。

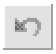


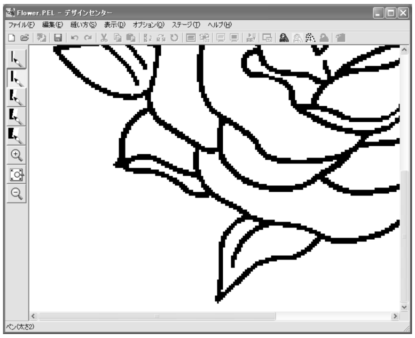
カーソルを取り除く葉の上に置いて、マウスの右ボタンを押します。

→ カーソルの形が に変わります。



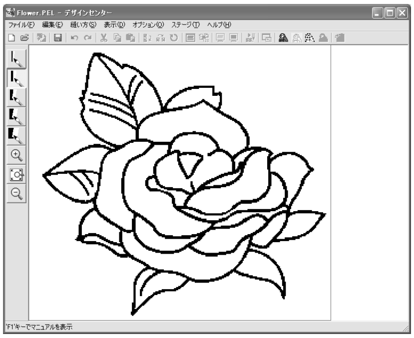
マウスのボタンを押したまま、カーソルを慎重にドラッグして線を消去します。

> **メモ：**
> まちがって線を消してしまった場合は、**編集**→**元に戻す**をクリックするか、または**元に戻す**ボタン  をクリックすると、直前の操作を取り消すことができます。輪郭線画ステージでは、5 回まで元に戻すことができます。

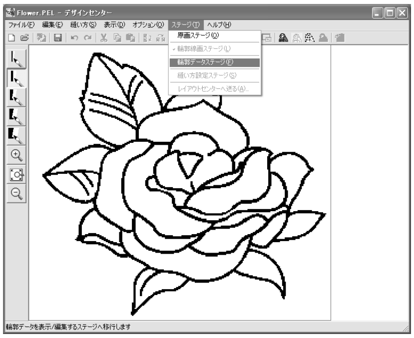


をクリックして、輪郭線画全体のプレビューを表示します。

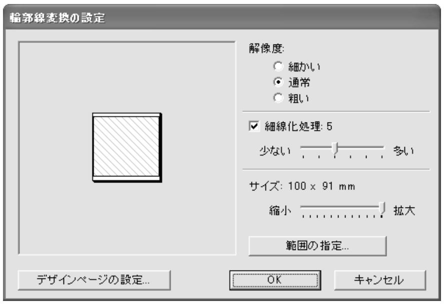
→ デザインページがデザインセンター画面いっぱいに表示されます。



3 **輪郭線画を輪郭データに変換します。**



メニューバーの**ステージ→輪郭データステージ**をクリックするか、 をクリックします。



ここでは、標準設定をそのまま使用します。**OK** をクリックします。

メモ：

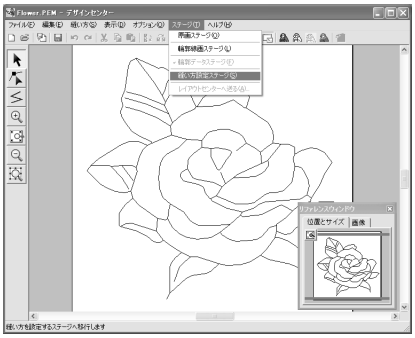
輪郭線画を輪郭データに変換するときに、各設定を変更できます。（詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「輪郭線変換の設定を指定する」の項目を参照してください。）

→ 輪郭線画が、輪郭データに変換されます。

ステップ4 縫い方を設定する（縫い方設定ステージ）

刺しゅうデータの各部分に縫い方を設定します。

1 **輪郭データを刺しゅうデータに変換します。**

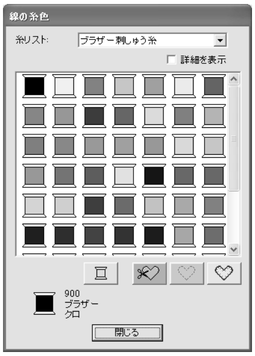


メニューバーの**ステージ→縫い方設定ステージ**をクリックするか、 をクリックします。

2 **輪郭線の縫い方を設定します。**

をクリックします。

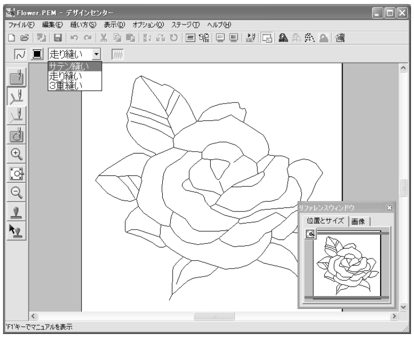
→カーソルの形が に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。

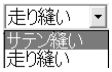


輪郭線の色を変更するには、 をクリックし、**クロ**を選択してから**閉じる**をクリックします。(ここでは、初期設定の**クロ**を使用します。)

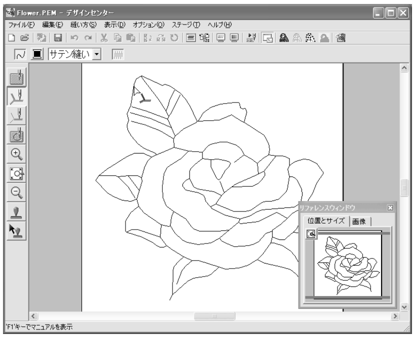
メモ：
タイトルバーにカーソルを置き、ダイアログボックスをドラッグすると、ダイアログボックスを使いやすい位置に移動できます。

→選択された色で、 が表示されます。



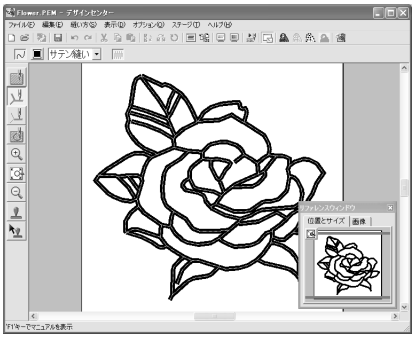


→**サテン縫い**をクリックして、縫い方をサテン縫いに変更します。



輪郭線をクリックし、縫い方をサテン縫いに設定します。

→次のように、輪郭線が赤い破線で表示されます。

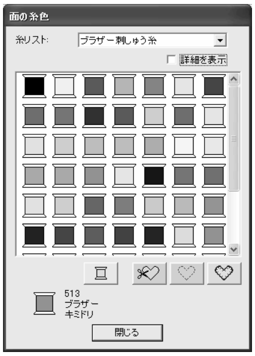


メモ：
輪郭線の幅が太すぎる場合は、**縫い方→縫い方の設定**をクリックして、縫い方の設定ダイアログで**サテン幅**を変更し、輪郭線をクリックして変更を設定します。

3 面の縫い方を設定します。

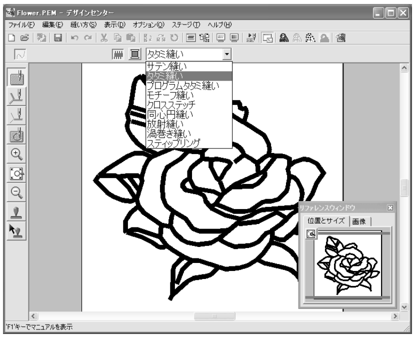
 をクリックします。

→ カーソルの形が に変わり、縫い方の設定バーが次のように表示されます。

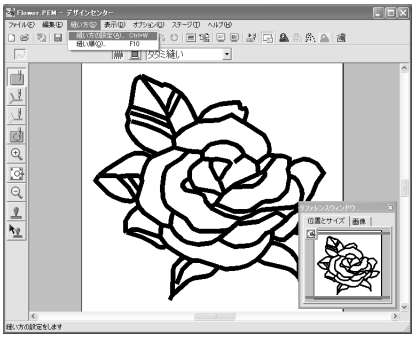


葉の面の色を設定するには、 をクリックして**キミドリ**を選択し、次に**閉じる**をクリックします。

→ 選択された色で、 が表示されます。

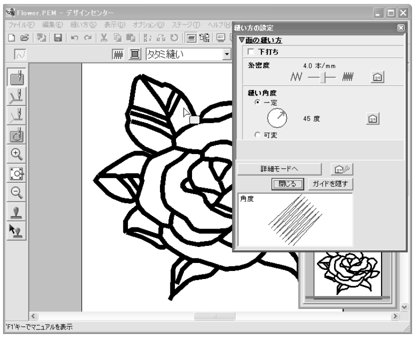


葉の面の縫い方を設定します。ここでは、初期設定の**タタミ縫い**にします。



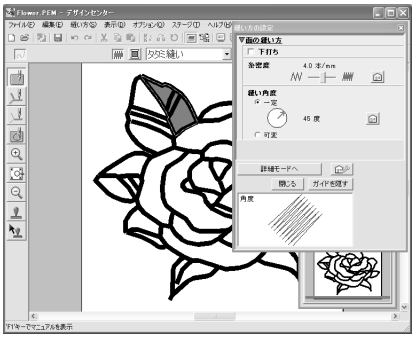
タタミ縫いの縫い方を設定します。メニューバーの**縫い方→縫い方の設定**をクリックします。

タタミ縫いの縫い角度を変更します。**一定**をクリックし、カーソルを下の赤い矢印上に移動し、その矢印をドラッグして角度を設定します。

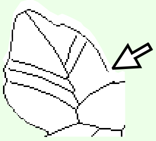


設定する葉の面をクリックします。

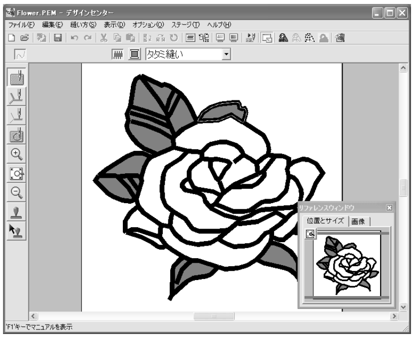
→ 選択した面を囲む線が赤い破線で表示されます。

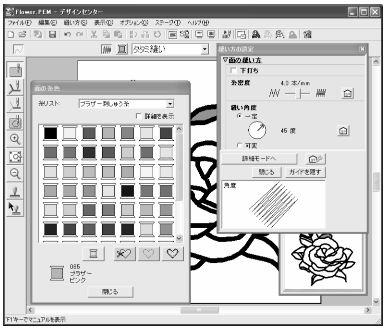


同様にして、すべての葉の面の縫い方を設定します。

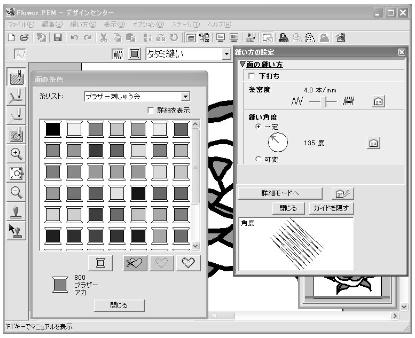
> **注意：**
> 下図のように、閉じていない（線で完全に囲まれていない）面は縫い方を設定できません。
>
> 
>
> 面に縫い方が設定できない場合は、輪郭データステージに戻り、面を囲む線を閉じてください。ポイント編集ツールを使って、繋がっていない線を編集します。（詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「輪郭データを編集する」の項目を参照してください。）

→ 葉の面に縫い方を設定すると、次のようなイメージが表示されます。

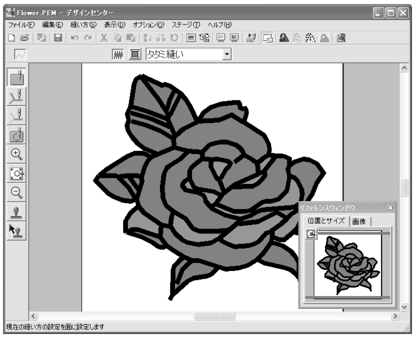




葉の場合と同様に、花の部分に縫い方を設定します。葉の設定と同様の手順で、**ピンク**を選択し、縫い角度をいろいろな角度に設定してから、設定する面をクリックします。



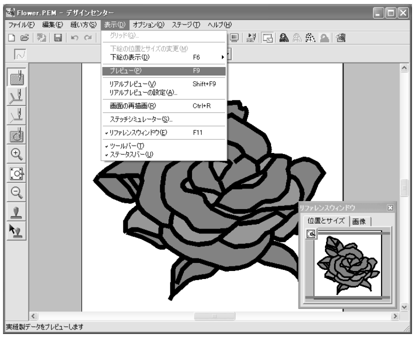
花の残りの面の縫い方を設定します。**アカ**を選択し、縫い角度を設定してから、設定する面をクリックします。



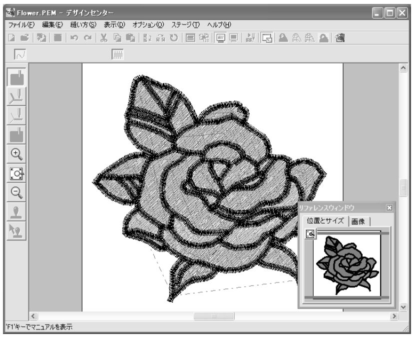
ステップ5 刺しゅうデータをプレビューする

完成した刺しゅうデータをプレビューします。

1 プレビューで縫い方を確認します。

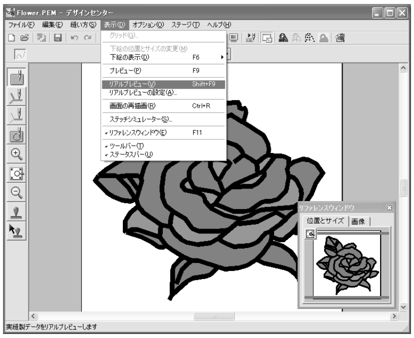


メニューバーの**表示**→**プレビュー**をクリックします。

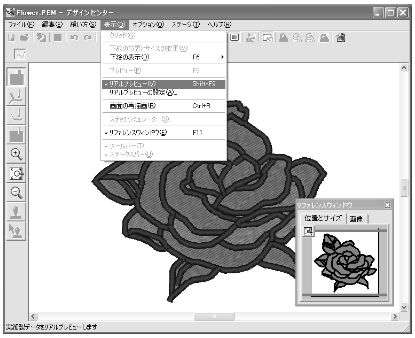


通常表示に戻すには、**表示→プレビュー**をクリックするか、Escキーを押します。

2 リアルプレビューで仕上がりを確認します。



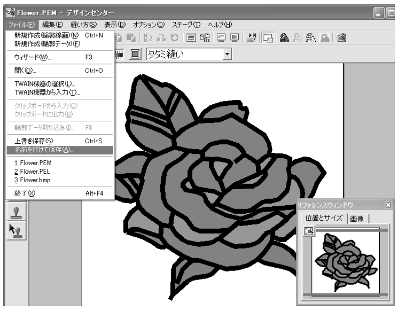
メニューバーの**表示→リアルプレビュー**をクリックします。



通常表示に戻すには、**表示→リアルプレビュー**をクリックするか、Escキーを押します。

ステップ6 刺しゅうデータを保存する

作成した刺しゅうデータは保存しておくことができます。



ファイル→名前を付けて保存をクリックします。

ファイル名を入力します。

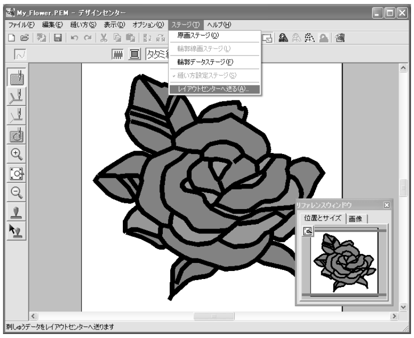
必要に応じて、ドライブとフォルダを変更してください。
保存をクリックします。

ステップ7 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

> **メモ：**
> 他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USB メモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

1 レイアウトセンターに刺しゅうデータを送ります。

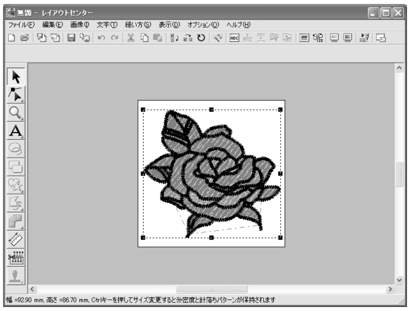


ステージ→レイアウトセンターへ送るをクリックするか、 をクリックします。

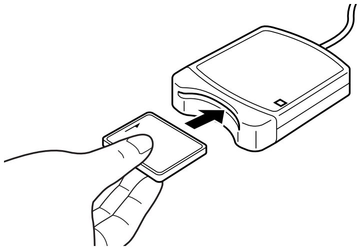
→ レイアウトセンターが起動し、**取り込みサイズ**ダイアログボックスが表示されます。

取り込みをクリックします。

→ デザインセンターで作成した刺しゅうデータがレイアウトセンターに取り込まれます。

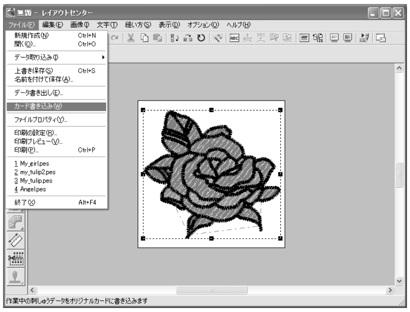


2 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



> **注意：**
> オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

3 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

OK をクリックします。

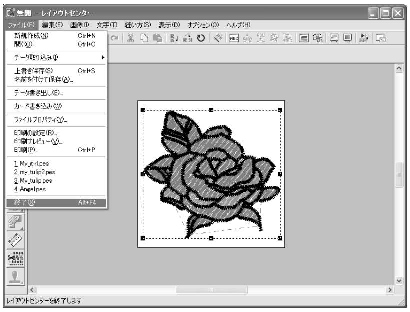
注意：
データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。

OK をクリックします。

注意：
- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

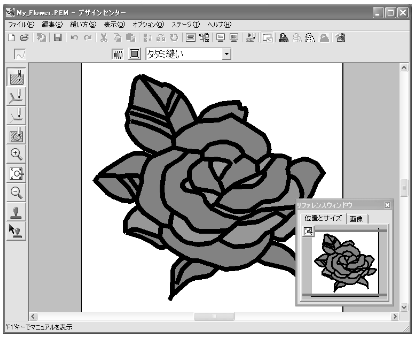
4 レイアウトセンターを終了します。



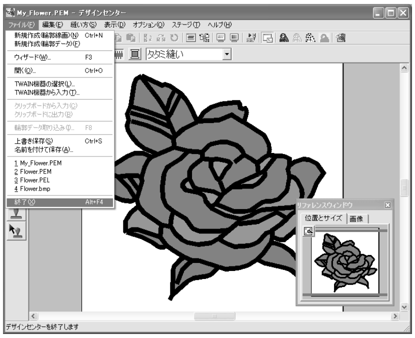
メニューバーの**ファイル→終了**をクリックします。

メモ：
レイアウトセンターでは、刺しゅうデータは .pes ファイル形式で保存されます。
刺しゅうデータを保存するには、レイアウトセンターで**ファイル→名前を付けて保存**をクリックします。

5 デザインセンターを終了します。



デザインセンター画面を表示します。



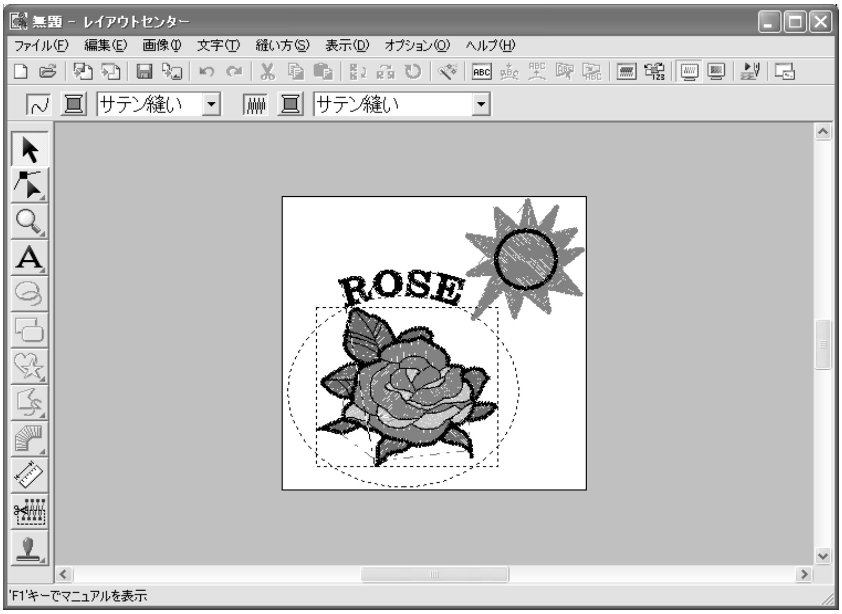
メニューバーのファイル→終了をクリックします。

刺しゅうデータを組み合わせる（レイアウトセンター）

ここでは、デザインセンターで作成した刺しゅうデータを取り込んで、それをレイアウトセンターで他の刺しゅうデータと組み合わせます。
この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ **1**	デザインセンターから刺しゅうデータを取り込む
ステップ **2**	文字を加える
ステップ **3**	図形を描く
ステップ **4**	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ **5**	刺しゅうデータを保存する
ステップ **6**	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

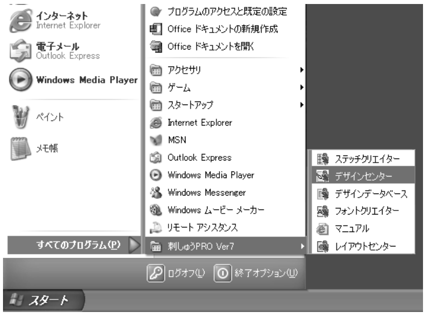
最終的には次のような刺しゅうデータができあがります。



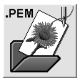
ステップ1 デザインセンターから刺しゅうデータを取り込む

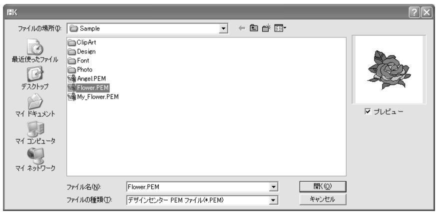
ここでは、「原画から刺しゅうデータを作成する(デザインセンター)」の項で、デザインセンターを使って作成した刺しゅうデータ(Flower.pem)を取り込みます。

1 カードライターを接続して、デザインセンターで刺しゅうファイルを開きます。



をクリックし、次に**すべてのプログラム→刺しゅう PRO Ver.7 →デザインセンター**を選択します。

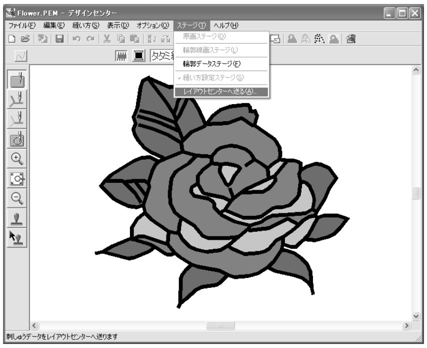
 をクリックします。



サンプルファイル **Flower.pem** を選択し、**開く**をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。

→ 刺しゅうデータがデザインセンターのデザインページに表示されます。

2 レイアウトセンターに刺しゅうデータを送ります。



ステージ→レイアウトセンターへ送るをクリックするか、 をクリックします。

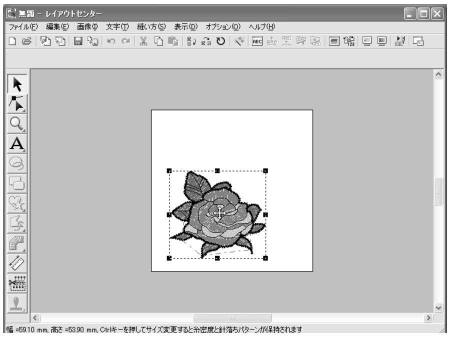
→ レイアウトセンターが起動し、取り込みサイズダイアログボックスが表示されます。

取り込み倍率で、**70%** と入力または選択し、**取り込み**をクリックします。

→ 刺しゅうデータがレイアウトセンターのデザインページに取り込まれます。

メモ:
- 刺しゅうデータの周囲にハンドルが表示され、その刺しゅうデータが選択されていることを示します。
- ステータスバーに選択されている刺しゅうデータのサイズ(幅と高さ)が表示されます。

3 刺しゅうデータの位置を調整します。

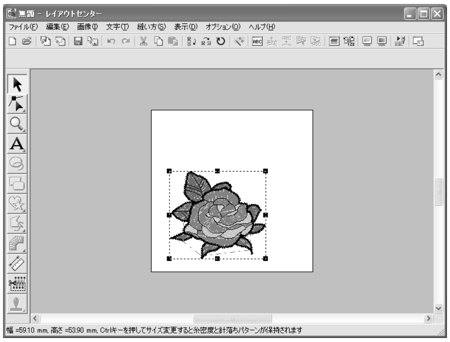


刺しゅうデータの上にカーソルを移動し、ドラッグして移動します。

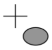
ステップ2 文字を加える

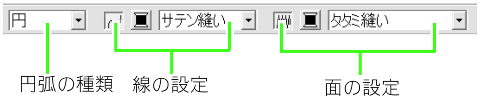
まず、文字のガイドとして使用する円を描きます。次に、その円上に文字を配置します。

1 描く図形を選択します。

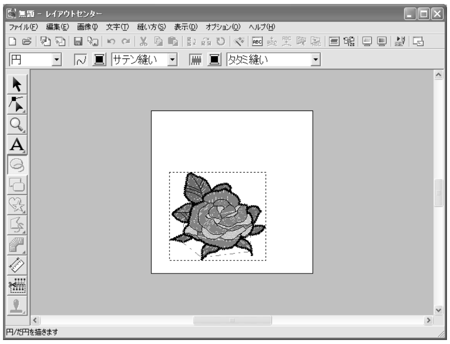


をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、縫い方の設定バーが次のように表示されます。



メモ：
カーソルを縫い方バーのボタンまたはセレクタ上に置くと、そのボタンやセレクタの機能を示すラベルが表示されます。



ここでは、初期設定の**円**を使用します。

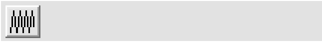
2 この円は文字のガイドとして使用するので、縫製しないように設定します。

をクリックして、線縫いをしないように設定します。

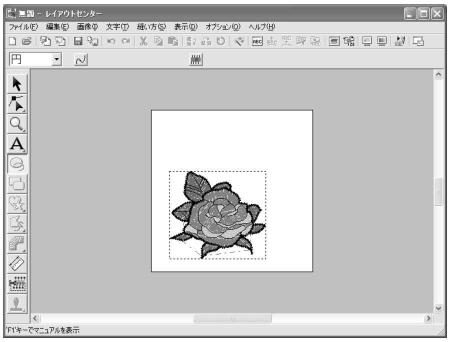
→ **線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクタが非表示になります。

をクリックして、面縫いをしないように設定します。

→ **面の色**ボタンと**面の縫い方**セレクタが非表示になります。

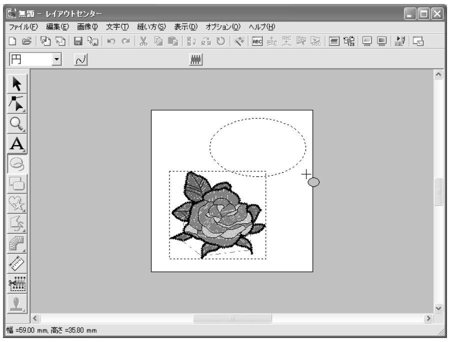


3 円を描きます。

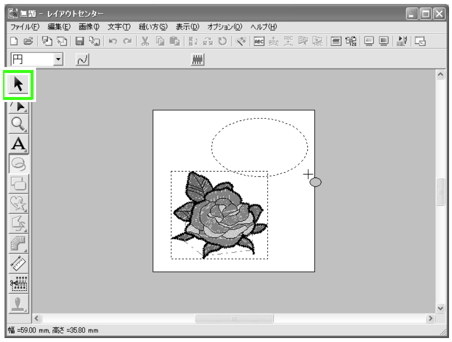


カーソルをドラッグします。

→ マウスボタンを離すと、円（輪郭線と内部）が描画されます。

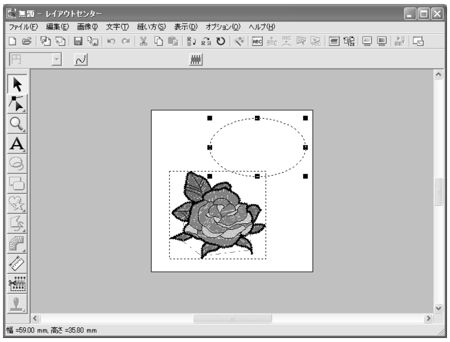


④ 円のサイズと位置を調整します。

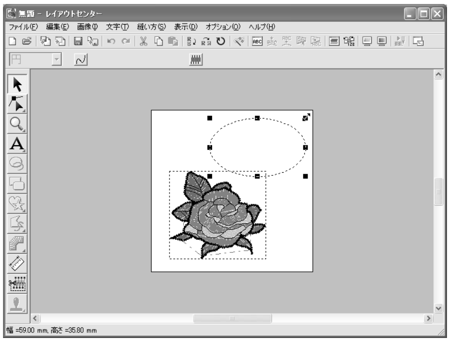


をクリックします。

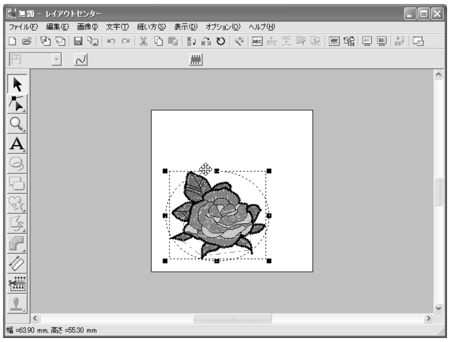
→カーソルの形が　に変わります。



円をクリックして選択します。

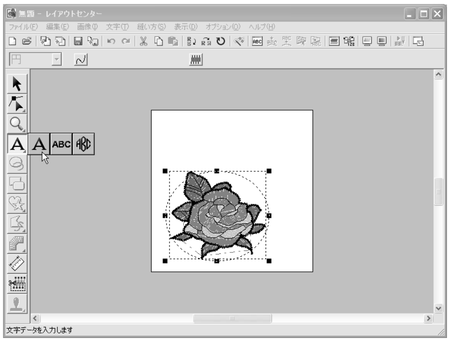


ハンドルをドラッグして、円のサイズを調整します。



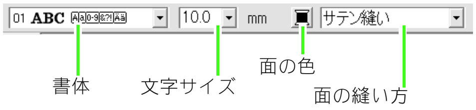
円の上にカーソルを置き、花の刺しゅうデータが円の中心になるように円をドラッグします。

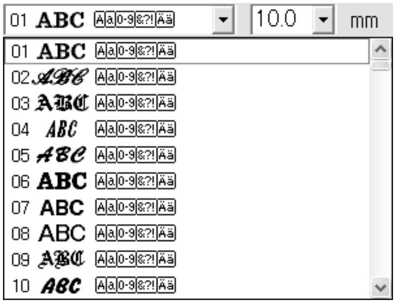
⑤ 文字を追加します。



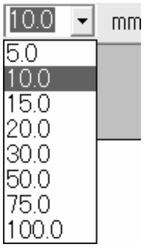
→ をクリックします。

→カーソルの形が　に変わり、縫い方の設定バーが次のように表示されます。





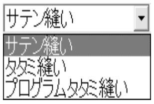
書体を選択します。ここでは、書体 **01** を使用します。



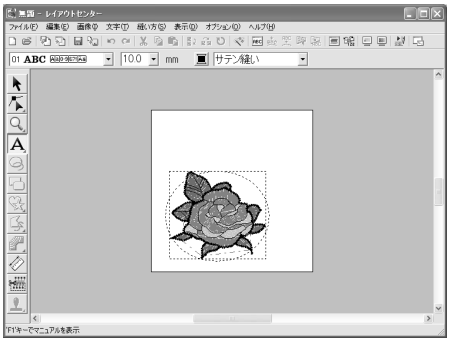
文字サイズを設定します。ここでは、**10.0mm** を使用します。

メモ：
設定値は、文字の高さを示します。

色を選択します。ここでは、初期設定の**クロ**を使用します。



縫い方の種類を選択します。ここでは、初期設定の**サテン縫い**を使用します。



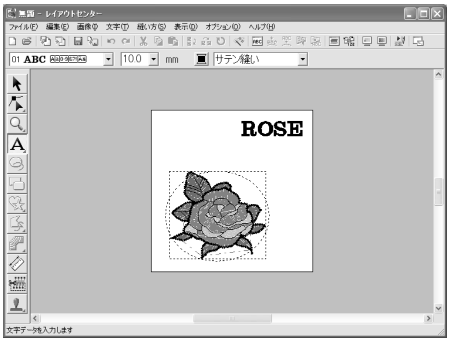
文字を入力します。デザインページをクリックします。

→ **文字の編集**ダイアログボックスが表示されます。

「ROSE」と入力して、**OK** をクリックします。

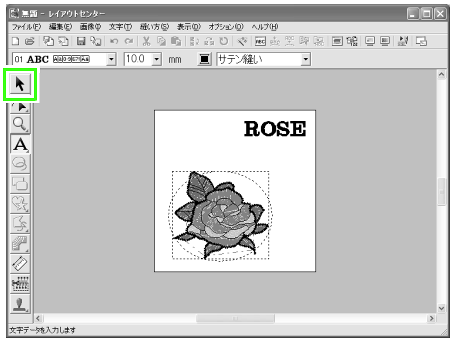
メモ：
選択できる文字から文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックして入力します。

→ デザインページに文字が表示されます。



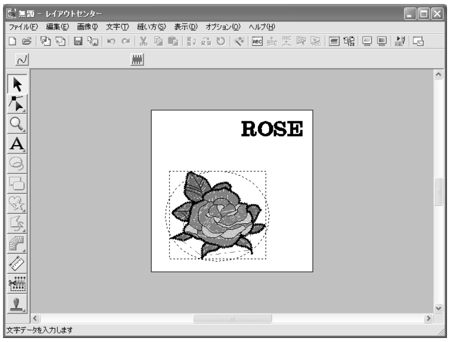
メモ：
- 入力した文字を編集するには、ツールボックスの をクリックし、文字をクリックして選択してから、メニューコマンドの**文字**→**文字の編集**をクリックします。表示された**文字の編集**ダイアログボックスで、文字を編集します。
- 文字を消去する場合は、文字を選択してから、**Delete** キーを押します。
- 文字を入力した後で文字の色、書体、その他の設定を変更する場合は、ツールボックスの をクリックし文字をクリックで選択してから、縫い方バーの設定を変更します。

6 **円の周りに文字を配列します。**



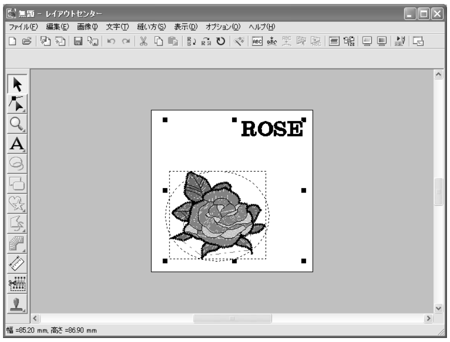
をクリックします。

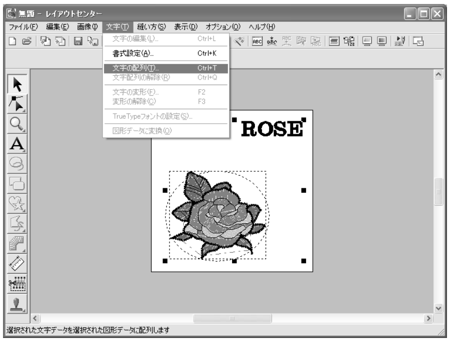
→ カーソルの形が に変わります。



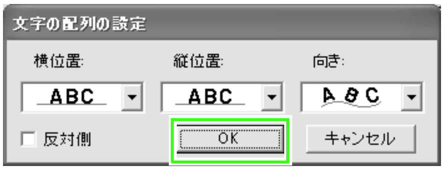
文字 **ROSE** をクリックし、Ctrl キーを押しながら円をクリックします。

→ 円と文字の両方が選択されます。



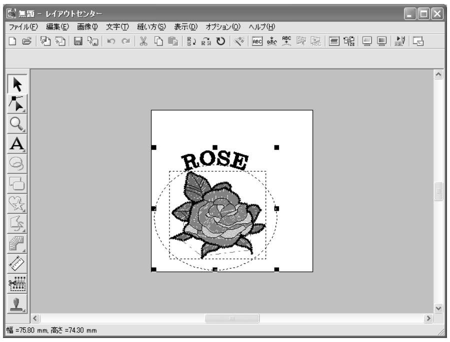


文字→文字の配列メニューをクリックします。



ここでは標準設定を使用するので、**OK** をクリックします。

→ 文字が円に沿って配列されます。

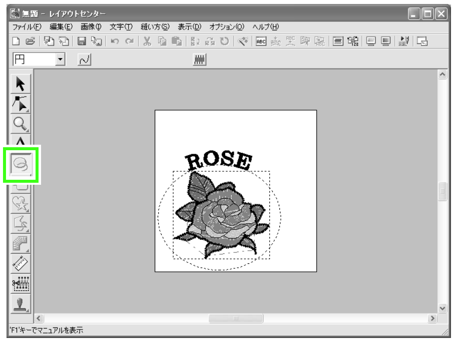


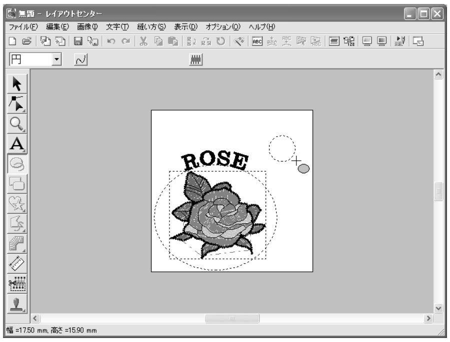
メモ：
文字が円に沿って配列されると、同じグループとなり、1 つの刺しゅうデータとして扱われますので、別々に移動することはできません。ただし、円に沿って文字の位置を移動することはできます。（詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「グループ化された刺しゅうデータを個別に編集する」の項目を参照してください。）

ステップ 3 図形を描く

次に太陽の刺しゅうデータを追加します。まず円を描き、次に輪郭線の色、縫い方、サテン幅と内側の色、縫い方を設定します。

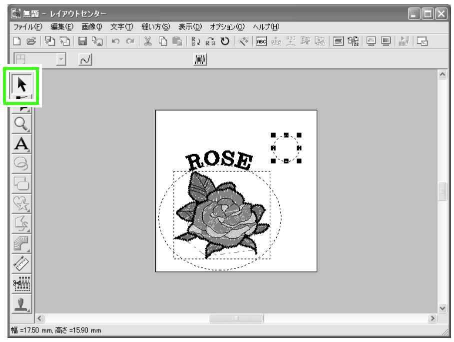
1 太陽の中心の円を描きます。





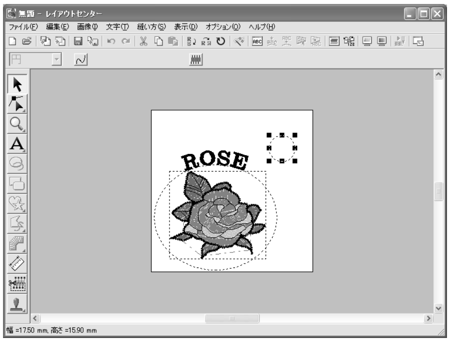
をクリックし、**Shift** キーを押しながら、カーソルをドラッグします。

注意：
Shift キーを押したまま描くと、真円が描けます。



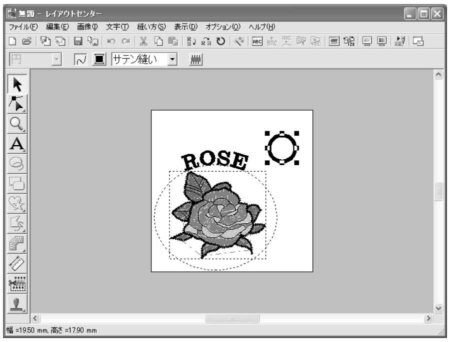
をクリックし、次に円をクリックして選択します。

メモ：
円のサイズを変更したいときは、円を選択してから角にあるハンドルの 1 つをドラッグします。

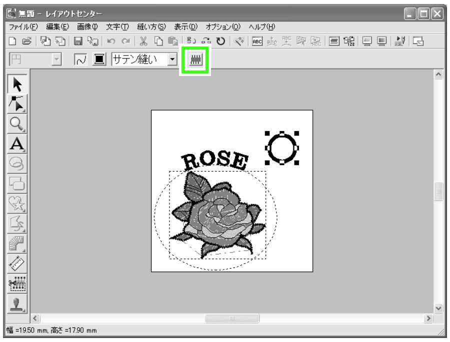


- 輪郭線の色と縫い方を変更するには、 をクリックします。

  → 次のように刺しゅうデータが表示されます。

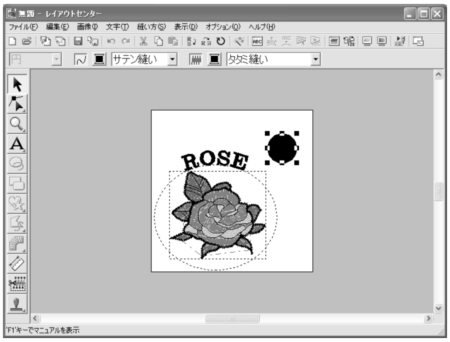


ここでは、初期設定の**クロ**と**サテン縫い**を使用します。



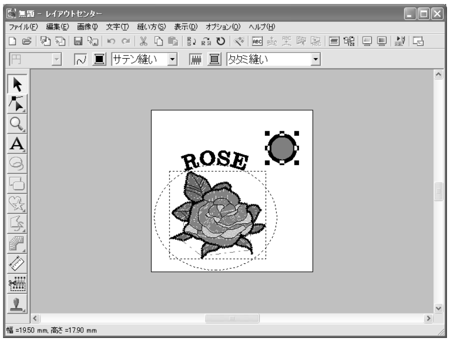
- 面の糸色を変えるには、 をクリックします。

  → 次のように刺しゅうデータが表示されます。

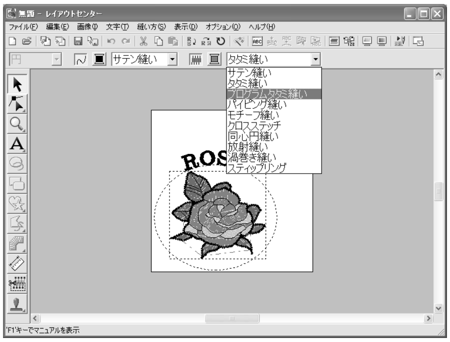


ここでは、**キイロ**を選択します。

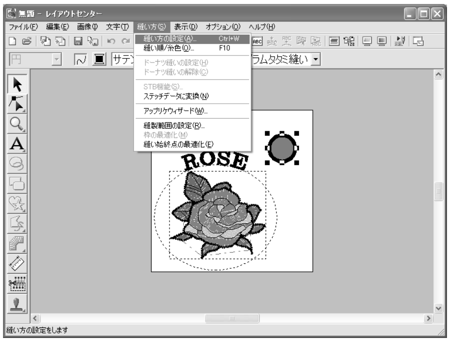
→ 次のように刺しゅうデータが表示されます。



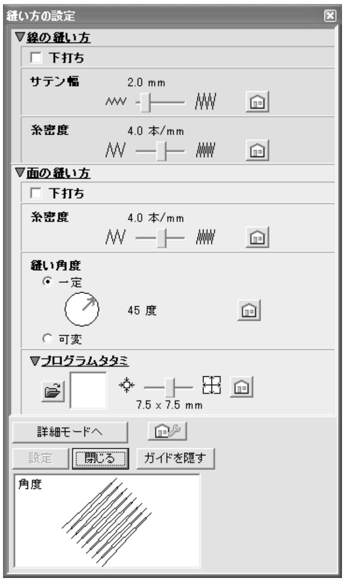
❷ 面の縫い方に、プログラムタタミ縫いを設定します。



タタミ縫い をクリックし、次に**プログラムタタミ縫い**を選択します。

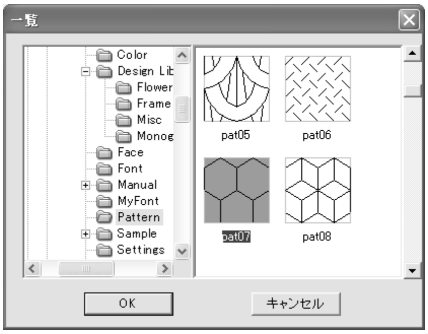


縫い方→縫い方の設定メニューをクリックします。



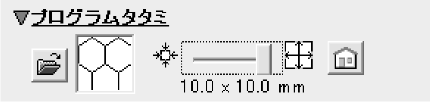
プログラムタタミの下の をクリックします。

→ **一覧**ダイアログボックスが表示されます。既存のプログラムタタミ用パターンのプレビューを一覧で見ることができます。



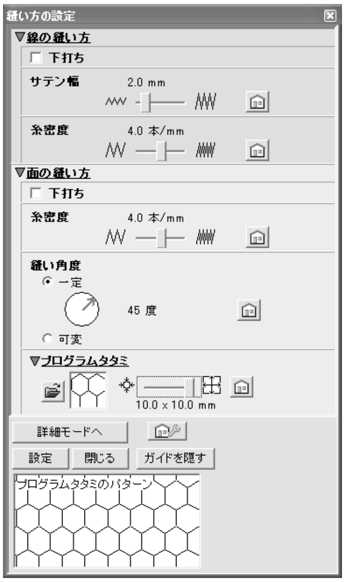
pat07 を選択し、**OK** をクリックします。

→ ダイアログボックスが閉じ、選択したパターンのプレビューが**縫い方の設定**ダイアログボックスの下部に表示されます。



10.0 × 10.0mm が表示されるまでスライダを右に動かして、サイズを変更します。

→ **縫い方の設定**ダイアログボックスは、次のように表示されます。

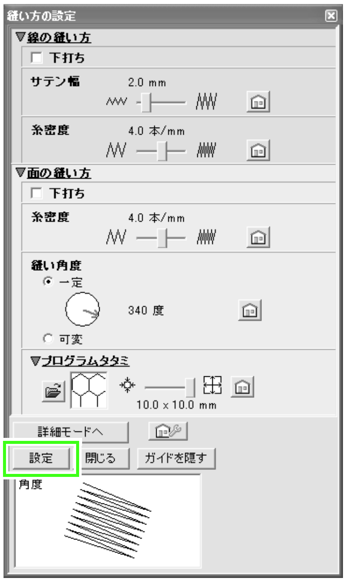


メモ：

- 設定を変更すると、それにともなってダイアログボックス下部のガイド画面のパターンのプレビューも変わります。変更後の実際の変化をここで確認できます。
- パターンの幅と高さは、別々に変更できます。（詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「プログラムタタミ縫い」の項目を参照してください。）

タタミ縫いの縫い角度を変更します。**一定**をクリックし、カーソルを下の赤い矢印上に移動し、矢印をドラッグして角度を **340 度**に設定します。

→ **縫い方の設定**ダイアログボックスは、次のように表示されます。

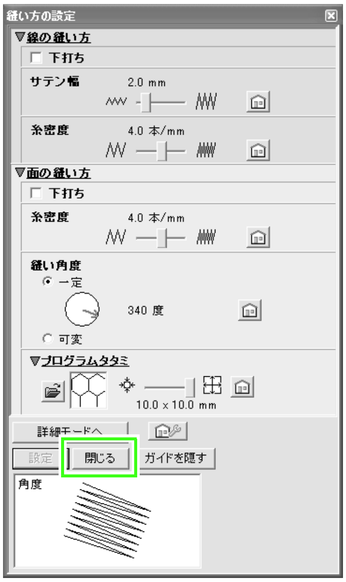


設定をクリックします。

→ 設定を変更したプログラムタタミ縫いが、選択されている円の内部に設定されます。

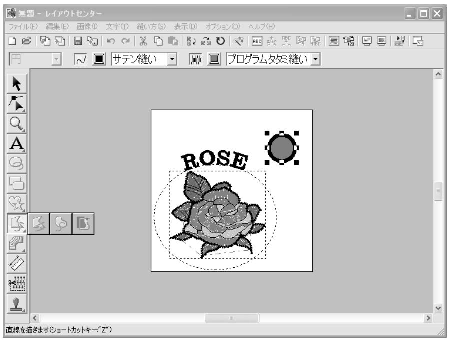
注意：

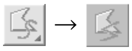
縫い方の設定は、設定を変更しないかぎり、これから新しく描かれるすべてのパターンに適用されます。



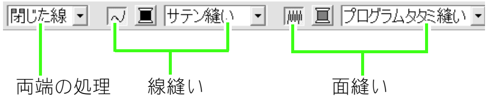
閉じるをクリックします。

3 線描画ツールを使って、太陽の光線を描きます。



 をクリックします。

→カーソルの形が に変わり、縫い方の設定バーが次のように表示されます。

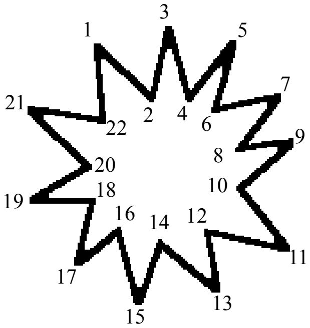


注意：

必ず、**両端の処理**セレクタで**閉じた線**を選択します。**閉じた線**を選択すると、始点と終点が自動的に結ばれて面ができます。**開いた線**を選択すると、面は作成されないため、縫い方を設定できるのは線だけになります。線を描く場合は、**開いた線**を選択します。

輪郭線の色と縫い方を選択します。ここでは、色は**アカ**、縫い方は**サテン縫い**を設定します。

面の色を選択します。ここでは、色は**アカ**、縫い方は**タタミ縫い**を設定します。

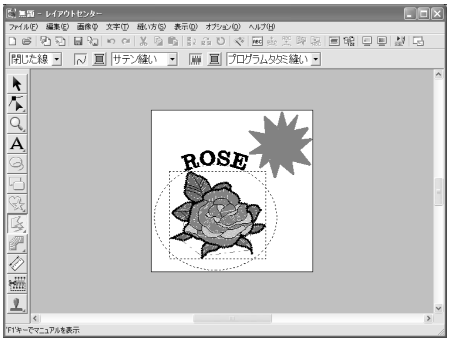


円を目安に太陽の周りに陽光を描きます。始点（1）でクリックし、各角（2 ～ 21）でクリックします。最後の点（22）でダブルクリックします。

メモ：

ダブルクリックする前にマウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

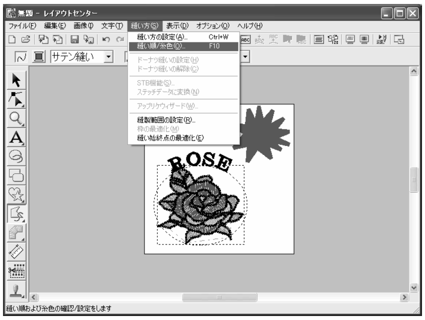
→ 次のように刺しゅうデータが表示されます。



メモ：

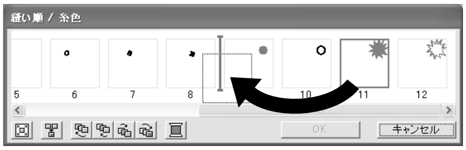
- 刺しゅうデータを消去する場合は、ツールボックスの をクリックし刺しゅうデータをクリックで選択してから、Delete キーを押すか、メニューバーの**編集→削除**を選択します。
- 刺しゅうデータを描いた後でその両端処理や色、縫い方などを変更する場合は、ツールボックスの をクリックし変更する刺しゅうデータをクリックで選択してから、縫い方バーまたは**縫い方の設定**ダイアログボックスで設定を変更します。

4 太陽の陽光の上に円が縫製されるように縫い順を変更します。



メニューバーの**縫い方→縫い順/糸色**をクリックします。

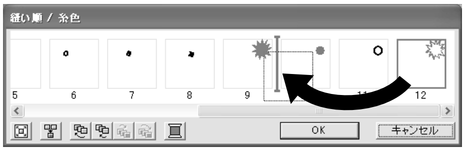
→ **縫い順/糸色**ダイアログボックスが表示されます



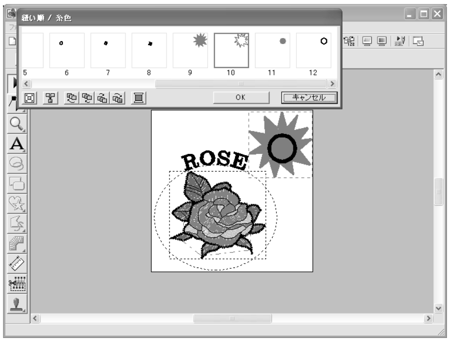
陽光の面のコマをクリックして選択し、太陽の円の面の左にドラッグします。（陽光の面を先に縫います。）

メモ：

縫い順/糸色ダイアログボックス内のコマを選択すると、下部にあるボタンを使用できるようになります。これらのボタンを使用して、選択したコマの縫い順を変更することもできます。（詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「縫い順を変更する」の項目を参照してください。）

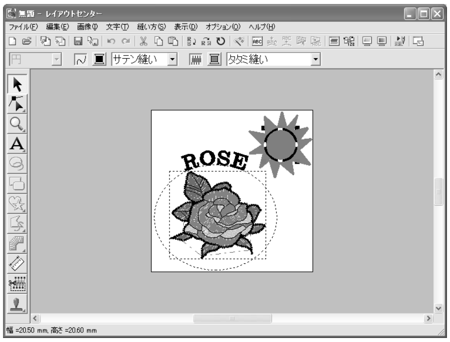


陽光の線のコマをクリックして選択し、陽光の面と太陽の円の間にドラッグします。



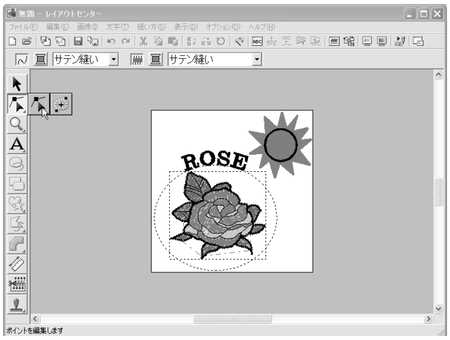
OK をクリックします。

→ 太陽（円）より先に陽光が縫われるように、縫い順が変更されました。



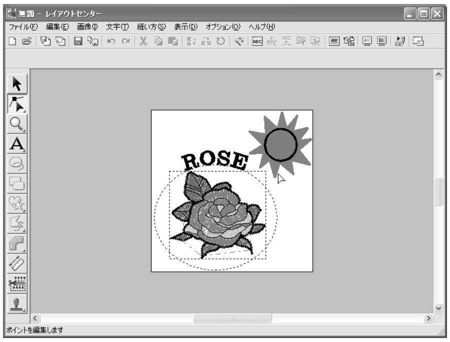
必要に応じて、太陽の円が陽光の中央に見えるように、円を選択しドラッグして移動してください。

5 **陽光の形を調整します。**



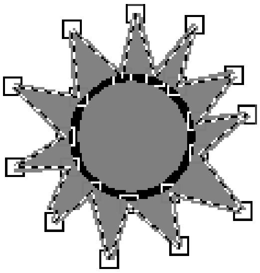
→ をクリックします。

→ カーソルの形が に変わります。



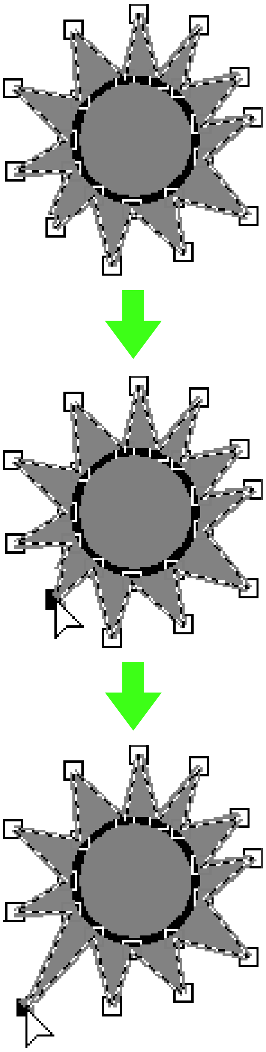
陽光をクリックして選択します。

→ 既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



移動するポイントをクリックします。

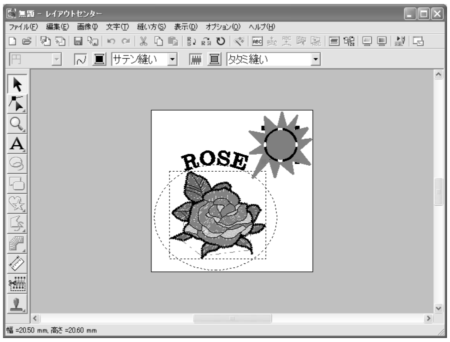
→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。



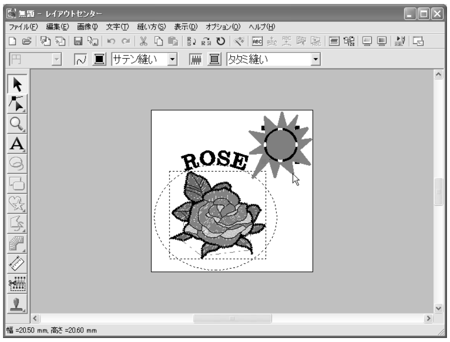
ポイントを移動したい場所にドラッグします。

> **メモ：**
>
> ポイントは、追加または削除できます。（詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「ポイントを挿入する」と「ポイントを削除する」の項目を参照してください。）

6 **陽光にドーナツ縫いを設定して、太陽（円）の部分が 2 回縫製されないようにします。**

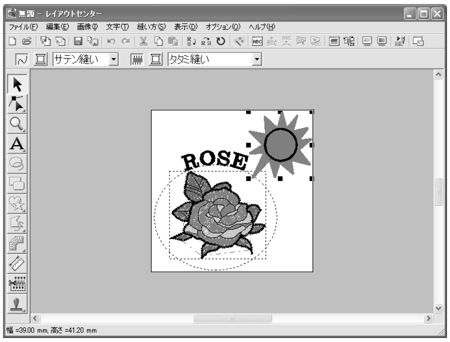


ツールボックスの をクリックし、太陽の円をクリックして選択します。



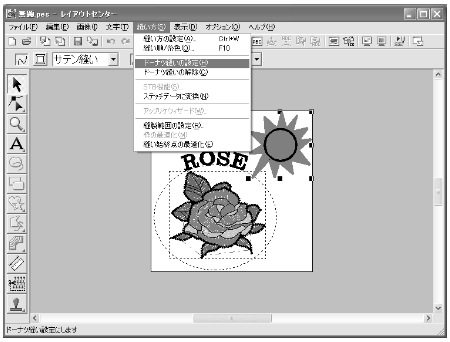
Ctrl キーを押しながら、陽光部分をクリックします。

→ 円と折れ線が両方選択されます。



メモ：

2 つのデータの選択が難しい場合は、データ周りに枠を描くようにカーソルをドラッグします。



メニューバーの**縫い方**→**ドーナツ縫いの設定**をクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

注意：

ドーナツ縫いは、一対の刺しゅうデータの一方が他方の内側に完全に囲まれていないと設定できません。

OK をクリックします。

注意：

ドーナツ縫いが設定された一対のデータは別々に移動できません。それぞれの位置を単独で調整する場合は、ツールボックスの をクリックしていずれかのデータを選択してから、メニューバーの**縫い方**→**ドーナツ縫いの解除**を選択し、ドーナツ縫いを解除してください。

メモ：

同じ面を2回縫わないように設定する方法については、パソコンにインストールされるマニュアルより「面縫いの二重縫いを防止する（ドーナツ縫い）」の項目を参照してください。

ステップ4 刺しゅうデータをプレビューする

P.30 の「刺しゅうデータをプレビューする」を参照してください。

ステップ5 刺しゅうデータを保存する

P.30 の「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。

ステップ6 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

P.31 の「オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む」を参照してください。

メモ：

マニュアルの「使ってみましょう」では、本書の説明に加えて、さまざまな機能や操作方法について説明しています。マニュアルもあわせて、参照してください。

刺しゅうデータの拡大・縮小について

取り込んだ刺しゅうデータ（ステッチデータ）をレイアウトセンターで拡大・縮小する方法として、データをそのまま拡大・縮小する方法や、データを STB 機能（Stitch to block 機能）でマニュアルパンチングデータに変換してから拡大・縮小する方法があります。

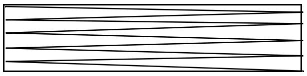
通常、そのまま拡大・縮小すると、縫製される針数は変わらず、縫い目が粗くまたは細かくなるので、データのサイズを大きく変えると、刺しゅうの品質が変わってしまいます。ただし、Ctrl キーを押しながら拡大・縮小すると、糸密度や針落ちパターンが自動的に新しいサイズに合わせて変更されるため、元の刺しゅう品質を維持することができます。

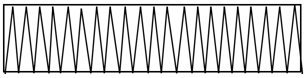
STB 機能（Stitch to Block 機能）により変換されたマニュアルパンチングデータは、拡大・縮小しても、元の刺しゅう品質を維持することができます。また、縫い方や形状を編集することもできます。データを少しだけ拡大・縮小する場合は、STB 機能を操作する必要はありません。

この「刺しゅう PRO」では、オリジナルの刺しゅうデータが作成できるように、様々な縫い方（糸密度、縫いピッチ等）がサポートされています。しかし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や実際の縫製条件（布、糸など）によって異なる場合がありますので、実際にご使用になるミシン、縫う条件で、必ず試し縫いを行ってください。試し縫いには、最終的に使用するものと同じ布、針、ミシン刺しゅう糸を使用してください。

縫い方向

縫い縮みを抑えるためには、縫う方向を、長い辺に直角になるように設定します。


縫い縮みが生じやすい


縫い縮みが生じにくい

縫い順

レイアウトセンターやデザインセンターで複数の刺しゅうデータを組み合わせた刺しゅうデータを作成した場合は、縫い順を確認し、必要に応じてデータを修正してください。

レイアウトセンターでは、データを入力した順序が標準の縫い順となります。

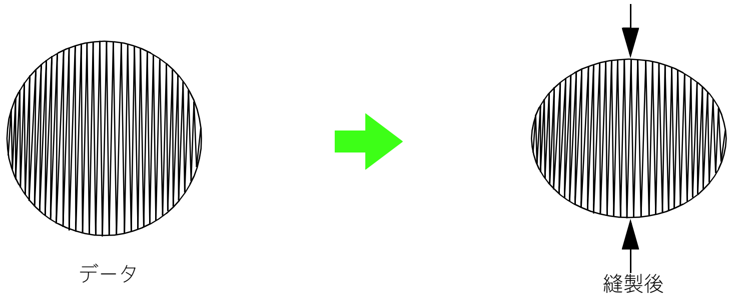
デザインセンターでは、縫い方を設定した順序が標準の縫い順となります。

広い範囲を縫うときは

- 広い範囲を縫うときは、縫い縮みを抑えるために**下打ち**を**オン**に設定します。

  ☞ 詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「下打ち」の項目を参照してください。
- 複数の面がある場合は、縫い縮みを抑えるためにそれぞれの面の縫い角度を変えてください。
- 刺しゅうするときは、必ず布地の裏に刺しゅう用接着芯を使用してください。特に薄地や伸びる布地の場合、芯を使用しないで刺しゅうをすると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。また、縫い縮みや模様のずれの原因にもなります。

- 広い範囲にサテン縫いをするときは、布や糸の種類によっては、縫い縮みが生じることがあります。このようなときは、タタミ縫いを選択して、布地の裏側に接着芯を貼ります。



注意：
広い範囲でサテン縫いを使うと、ミシンによっては、針の位置が 10mm 位ずれてしまうことがあります。これを防ぐには、上記の方法を試してみてください。

デザインセンターに原画を取り込む際のヒント

デザインセンターに適した原画を取り込むときは、次の方法を試してみてください。

■ 画像をスキャナで読み込む

原画の輪郭がはっきりしない時は、原画の上にトレーシングペーパーを置いて、輪郭のみをなぞって写し取った後トレーシングペーパーをスキャンしてください。

ステッチデータの一部を切り取る（ステッチ分割ツールを使用する）

レイアウトセンターのツールボックスの をクリックしてから、ステッチデータを選択し、切り取りたい部分を囲む多角形の枠をつくり、ダブルクリックすると、その枠の部分を切り取ることができます。

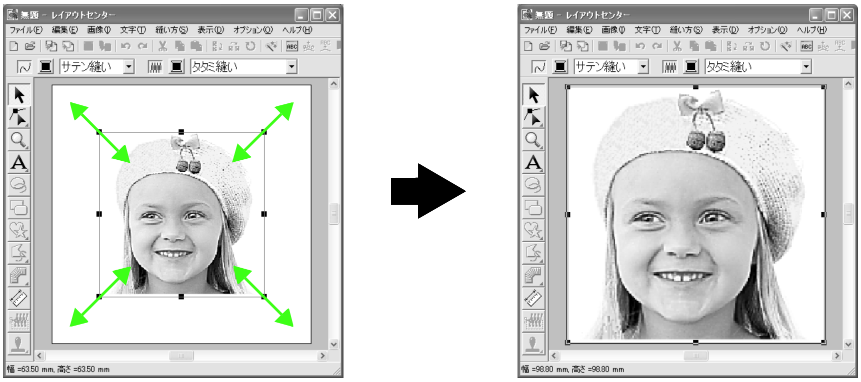
☞ 詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「ステッチデータの一部を切り取る」の項目を参照してください。

美しい写真刺しゅうを作成する

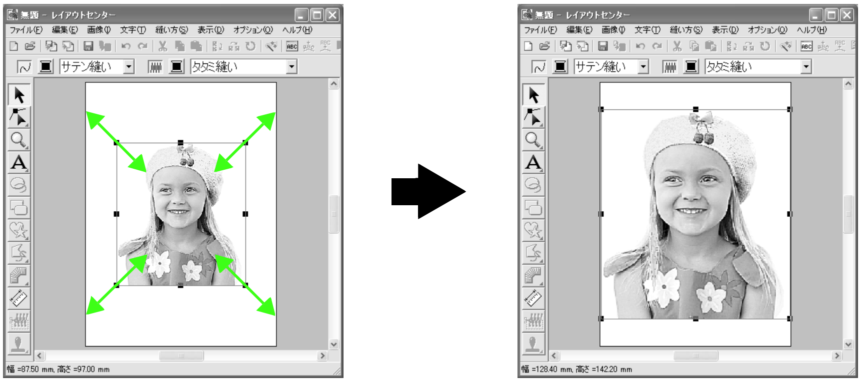
■ フォトステッチの場合

- 被写体が大きく写されている写真を選択します。（1 枚の写真に多くの物が写っている写真など、複雑な写真は適していません。）
- コントラストを高くします。
- 幅と高さが 300 ～ 500 ドットの画像が適しています。
- 人物写真の場合、以下のようにサイズを調整すると良い結果が得られます。

顔のアップ画像の場合
デザインページサイズを 100 × 100mm（またはそれ以上）に設定し、画像をデザインページサイズいっぱいに拡大（または縮小）します。



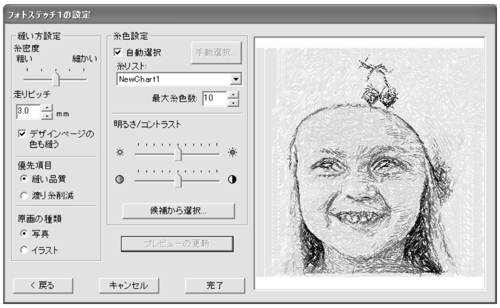
バストアップ画像の場合
デザインページサイズを 130 × 180mm（またはそれ以上）にし、画像をデザインページサイズいっぱいに拡大（または縮小）します。



- 元の写真が暗い場合は、**フォトステッチの設定**ダイアログボックスで**明るさ**を高い値に設定することをお勧めします。
- 作成された刺しゅうデータに強調したくない色が含まれている場合（たとえば、顔に灰色が入っているなど）**縫い順 / 糸色**ダイアログボックスで、その色が他の色より先に縫われるように順序を変更すると、良い結果を得られる場合があります。

  ☞ 詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「ステッチデータの糸色を変更する」の項目を参照してください。
- セピア色のユーザー糸リストを**ユーザー糸リストの編集**ダイアログボックスで作成し、次に**フォトステッチの設定**ダイアログボックスの**色の設定**で、作成したセピア色のユーザー糸リストを選択すると、セピア色の写真刺しゅうを作成できます。

  ☞ 詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「ユーザー糸リストを作成・編集する」の項目を参照してください。



刺しゅうに適した書体

■ ミニサイズ文字を縫う場合

ミニサイズ文字が含まれた刺しゅうデータを縫製するときは、次の推奨事項に従ってください。

1. 糸調子を、通常の刺しゅうデータの場合より弱く設定します。
2. 通常の刺しゅうデータの場合より、遅い速度で縫製します。
   （糸調子と縫い速度の調整については、ミシンの取扱説明書を参照してください。）
3. 文字の間の渡り糸を切らないようにしてください。
   （ミシンの糸切りの設定については、ミシンの取扱説明書を参照してください。）

■ TrueType フォントを刺しゅうデータに変換する場合

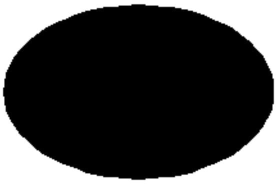
TrueType フォントを刺しゅうデータに変換するときは、ゴシック体のようにすべての線ができるだけ太いものを選択してください。

抜き文字を作成する（図形データに変換した文字を使用する）

刺しゅうデータの面上に抜き文字を入れたい場合は、TrueType フォントの文字データを**図形データに変換**で図形データに変換します。

1. **描画ツール**を使用して図形を描きます。

☞ 詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「図形を描く」の項目を参照してください。



2. TrueType フォントの文字を選択します。

3. 文字を右クリックし、表示されたメニューから**図形データに変換**を選択します。

☞ 詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「文字データを図形データに変換する」の項目を参照してください。

4. 図形の内側に文字を配置します。

5. 文字の輪郭線を選択し、Ctrl キーを押しながら背景の図形データを選択して、**ドーナツ縫いの設定**を選択します。

☞ 詳しくは、パソコンにインストールされるマニュアルより「面縫いの二重縫いを防止する（ドーナツ縫い）」の項目を参照してください。

6. 文字の内側にある輪郭線を選択して、**面の設定**ボタンをクリックします。
（この例の背景色は黒であるため、**面の色**ボタンで選択された色は黒です。）

→ 抜き文字が完成します。

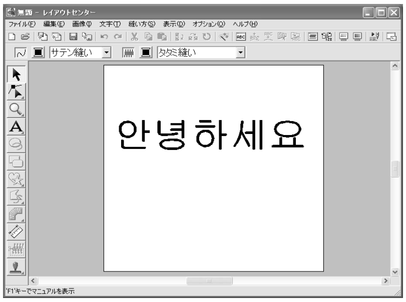
アルファベット以外の文字（中国語、韓国語など）を刺しゅうデータに変換する

TrueType フォントを使用すると、中国語、韓国語などの文字から刺しゅうデータを作成できます。

この例では、韓国語の True Type フォントから刺しゅうデータを作成します。

1. 文字入力ツールを選択し、韓国語の TrueType フォント（この例では「Gulim」）を選択します。
2. デザインページで、文字データを入力したい位置をクリックします。**文字の編集**ダイアログボックスが表示されます。
3. パソコンの文字コード表を表示します。（**スタート→すべてのプログラム→アクセサリ→システムツール→文字コード表**）
4. **文字コード表**の**フォント**で **Gulim** を選択し、**詳細表示**チェックボックスを選択します。次に、**文字セット**リストから **Windows: 韓国語**を選択して、使いたい文字（この例では、「안녕하세요」）を選択し、**選択**をクリックします。

5. 使用する文字をすべて選択できたら、**コピー**をクリックして、文字をコピーします。
6. レイアウトセンターの**文字の編集**ダイアログボックスに文字を貼り付けて、**OK** をクリックします。



困ったときは

トラブルが発生したときは、下記の項目をチェックしてください。対処に従っても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン１１９番)」(裏表紙参照）までお問い合わせ下さい。本製品のサポート情報については、下記のアドレスの弊社 Web サイトをご覧下さい。
ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）

こんなときは	原因	対処方法	参照ページ
ソフトウェアが正しくインストールできない。	正しいインストール手順で、インストールされませんでした。(キャンセルをクリックした、インストールが完了する前に、CD-ROM を取り出したなど。)	インストール手順に従って、正しくインストールしてください。	P.9
	インストーラが自動的に起動しませんでした。	P.11 の「プログラムのインストールが自動的に始まらない場合：」を参照してください。	P.11、P.13
旧バージョンからのアップグレード時に、「インターネットに接続することができません。」または、「サーバーに接続できません。しばらくしてから再度接続を試みて下さい。」と表示され、カードライター本体のアップグレードができない。	カードライターを接続しているパソコンが、インターネットに接続されていません。	カードライター本体をアップグレードするには、インターネットに接続する必要があります。ファイアウォール機能を使用している場合は、アップグレード中は一時的に無効にしてください。インターネットに接続できない場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。	P.16
カードライターが正しく動作しない。	電源が充分供給されていません。	電源を充分供給することが可能なパソコンの USB コネクタ、もしくは自己電源タイプ（セルフパワータイプ）の USB ハブに接続してください。	P.10

CD-ROM の包装を開封する前に必ずお読みください。

この度は弊社のソフトウェア製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
弊社では本製品に下記契約事項を設けており、お客様のご同意のあった場合のみ本製品をご使用いただいております。本製品の CD-ROM の包装を開封される前に、下記「ソフトウェアにおける契約条項」を充分お読み下さい。本製品の使用条件は、CD-ROM の包装の開封をもって、お客様にご了承いただいたものとさせていただきます。開封後の返品は一切お断りいたします。

ソフトウエアにおける契約条項

1. 総則
   この条項は、お客様と弊社との間における、本製品の使用に関する取り決めです。
2. 本製品の使用
   お客様は本製品を 1 台のコンピュータにインストールして使用することができます。
3. 複製
   お客様による本製品のバックアップ目的以外の複製は禁止されております。
4. 改造等
   お客様による本製品の改造、解析等は禁止します。
5. 譲渡
   お客様は本製品について、第三者に再使用権を設定し、又はその他の方法で第三者に使用させることができないものとします。
6. 保障
   お客様による本製品の選択、使用および使用結果について弊社はいかなる責任も負いません。
7. その他
   本製品は著作権法によって保護されています。

本製品の一部は Softfoundry International Pte.Ltd の技術を使用して作られています。

アフターサービス

● お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。

● 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（詳しくは保証書をご覧ください。）
それ以後の修理については、お買い上げの販売店または下記の「お客様相談室（ミシン119番）」にご相談ください。

● 当社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の「お客様相談室（ミシン119番）」へお問い合わせください。

お客様相談室（ミシン119番）0120-340-233

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン119番）」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
お客様相談室（ミシン119番）
TEL：0120-340-233
FAX：052-824-3031
営業時間：
月曜日～金曜日 9：00～17：30
土曜日 9：00～12：00 13：00～17：00
（祝祭日、ブラザー販売㈱休日を除く）

● お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。

● ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記「お客様相談室（ミシン119番）」へご連絡ください。

● 上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社
名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

取扱店

XE2095-001
Printed in China